

地方整備局（港湾空港関係）の事業における

電子納品等運用ガイドライン

【資料編】

平成 29 年 3 月

国土交通省港湾局

目 次

1. 適用 -----	1
2. 土木設計業務等の電子納品要領の運用 -----	2
3. 工事完成図書の電子納品等要領の運用 -----	7
4. CAD 製図基準の運用 -----	11
5. デジタル写真管理情報基準の運用 -----	17
6. 地質・土質調査成果電子納品要領（案）の運用 -----	20
7. 測量成果電子納品要領の運用 -----	21
8. 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編の運用 -----	23
9. 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編の運用 -----	25
10. CAD 製図基準 電気通信設備編の運用 -----	28
11. 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編の運用 -----	29
12. 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編の運用 -----	31
13. CAD 製図基準 機械設備工事編の運用 -----	34
 資料－1 港湾・海岸・空港コード一覧表 -----	 35
資料－2 レイヤ名一覧表 -----	40
資料－3 港湾工事工種体系ツリー -----	65
資料－4 空港土木工事工種体系ツリー -----	66

1. 適用

地方整備局（港湾空港関係）の事業における成果品の電子納品は、国土交通省で公開している各種電子納品要領・基準（以下「要領」といいます。）に準拠した納品を基本とする。

地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品等運用ガイドライン【資料編】（以下、「港湾空港資料ガイドライン」といいます。）は、各種電子納品要領・基準で定められた電子納品を地方整備局（港湾空港関係）の事業において運用するための方法を示すものである。

【解説】

国土交通省で公開している要領を地方整備局（港湾空港関係）（以下、「港湾空港関係」といいます。）の事業における電子納品に適用するためには、規定の一部を修正解釈する必要がある。本書では、それらについてとりまとめたものである。

要領とは、以下の要領・基準を示す。

- ・ 土木設計業務等の電子納品要領（平成 28 年 3 月）
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領（平成 28 年 3 月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）
- ・ CAD 製図基準（平成 28 年 3 月）
- ・ CAD 製図基準 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）
- ・ CAD 製図基準 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）
- ・ デジタル写真管理情報基準（平成 28 年 3 月）
- ・ 地質・土質調査成果電子納品要領（案）（平成 20 年 12 月）
- ・ 測量成果電子納品要領（平成 28 年 3 月）

なお、CAD 図面の作成方法については、CAD 製図基準に準拠しつつ本書「4.CAD 製図基準の運用」、「10.CAD 製図基準 電気通信設備編の運用」、「13.CAD 製図基準 機械設備工事編の運用」に従うものとする。

2. 土木設計業務等の電子納品要領の運用

土木設計業務等の電子納品要領（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

2.1.適用

土木設計業務等の電子納品要領「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	設計業務共通仕様書	各地方整備局
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局
3	測量作業共通仕様書	各地方整備局



（港湾空港における読み替え）

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

2.2.成果品の管理項目

2.2.1.業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_D.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号（9 桁）**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象水系路線コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線等コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、業務管理ファイル（INDEX_D.XML）の作成に際して、土木設計業務等の電子納品要領では設計書コードに発注機関の指示に従い記入することとなっているため、発注者の指示する案件番号（9 桁）を記入することとする。

また、対象水系路線コード及び名称については、テクリス入力システムの業務対象水系・路線等コードより選択することとなっている。しかし、このテクリスでは港湾区域を網羅していないため、資料－1 に示す港湾・海岸・空港コード一覧表の港湾・海岸・空港コード及び港湾・海岸・空港名称を利用するものとする。

なお、港湾・海岸・空港コード及び港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

表 2-1 業務管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
業務 件名 等	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	半角英数字	30	■	◎
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎
場 所 情 報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	□	◎
	水 系 路 線 情 報	対象水系路線等コード	半角数字	5 固定	□	△
		対象水系路線名	全角文字 半角英数字	127	□	○



(港湾空港における読み替え)

表 2-1 業務管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
業務 件名 等	設計書コード	発注者が定める案件番号(9 桁)を記入する。	半角英数字	30	■	◎
	業務名称	契約書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎
場 所 情 報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	□	◎
	水 系 路 線 情 報	対象水系路線等コード	半角数字	5 固定	□	△
		対象水系路線名	全角文字 半角英数字	127	□	◎

2.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」の「成果物」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」の「成果品」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

報告書管理ファイル（REPORT.XML）の作成に際し、報告書ファイルの情報を明確にするために、港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書により成果物の分類及び種類を入力するものとする。

具体的には、以下の通りである。

- ・ 「設計項目」 の内容：報告書、設計図面（または図面）、資料、等
- ・ 「成果品項目」 の内容：設計説明書、基本設計計算書、数量計算書、位置図、標準断面図、等

なお、空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書の成果品の規定には、上記の「成果品項目」に相当する項目が記載されているが、「設計項目」に相当する分類がない。このため、「設計項目」には上記の内容を記載するものとする。

表 2-2 報告書管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
報告書ファイル情報	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	☐	◎
	設計項目	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する)	全角文字 半角英数字	16	☐	○
	成果品項目	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する)	全角文字 半角英数字	16	☐	○



(港湾空港における読み替え)

表 2-2 報告書管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
報告書ファイル情報	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	☐	◎
	設計項目	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書の各業務の「成果物」に規定する項目を記入する。</u>	全角文字 半角英数字	16	☐	○
	成果品項目	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書の各業務の「成果物」に規定する詳細項目または、空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書の「成果品」に規定する項目を記入する。</u>	全角文字 半角英数字	16	☐	○

3. 工事完成図書の電子納品等要領の運用

工事完成図書の電子納品等要領（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

3.1.適用

工事完成図書の電子納品等要領「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」または「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により工事が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各工事の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	土木工事共通仕様書	各地方整備局等
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局等



（港湾空港における読み替え）

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾工事共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木工事共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>
4	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

3.2.フォルダ構成

3.2.1.「REGISTER」フォルダ

港湾空港関係の事業では、「REGISTER」フォルダに格納すべき電子成果物が該当しないため、「REGISTER」フォルダを作成しない。

【解説】

工事完成図書の電子納品等要領では、「REGISTER」フォルダには、台帳管理ファイルと設計図書に従って工事目的物の完成状態を台帳として記録した工事管理台帳、工事目的物の諸元をとりまとめた施設管理台帳、工事目的物の品質記録をとりまとめた品質記録台帳等を格納するように規定されているが、港湾空港関係の事業では該当する台帳類が規定されていないため、これらの電子データを管理する「REGISTER」フォルダを作成しない。

3.2.2.「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「工事履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名を ORG004～ORGnnn とし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

工事完成図書の電子納品等要領では「OTHRs」フォルダは監督職員の承諾を得て作成することができ、「ORGnnn」サブフォルダを複数作成できている。

これまで「OTHERS」フォルダに「工事履行報告書」と「段階確認書」のみを格納すると規定していたものを、平成 16 年 6 月の改訂において、将来的に維持管理分野で利用できるデータ等工事の特性に応じたデータを格納できるようにしたものである。

港湾空港関係の事業においては「段階確認書」の代わりに業務確認書や各種検査書が利用されている。

したがって、「OTHERS」フォルダに格納する電子納品対象物としては「業務確認書」、「検査書（工事材料検査書、施工状況検査書、立会検査書）」、「履行報告書（工事旬報）」及び、工事の特性に応じて必要となるデータを監督職員の承諾を得て格納することとする。業務確認書、検査書、履行報告書（工事旬報）のオリジナルファイル名については、従来通り業務確認書（CHKnn_mm.XXX）、検査書（CHKnn_mm.XXX）、履行報告書（PRGnn_mm.XXX）を使用するものとする。

3.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_C.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号（9 桁）**を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の作成に際して、工事完成図書の電子納品等要領では工事番号に CCMS 設計書番号（8 桁～16 桁）を記入することとなっているが、案件番号（9 桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名等については、コリンズの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事实施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料－1 参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

表 3-1 工事管理項目

分類・項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
工 事 件 名 等	発注年度	工事の発注年度を西暦 4 桁で記入する。	半角数字	4 固定	□	◎	
	工事番号	地方整備局単位で設定している CCMS 設計書番号(8 桁～16 桁)を記入する。	半角数字	127	□	◎	
	工事名称	契約書に記載されている正式の工事名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場 所 情 報	測地系		日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	□	◎
	水 系 路 線 情 報	対象水系 路線名	コリンズの路線・水系名に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。当該記入情報が複数ある場合の記入方法は付属資料 3 を参照のこと。	全角文字 半角英数字	127	■	○
		現道－旧道 区分	「現道:1」、「旧道:2」「新道:3」「未調査:0」のいずれかを記入する。	半角数字	1 固定	□	○



(港湾空港における読み替え)

表 3-1 工事管理項目

分類・項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
工 事 件 名 等	発注年度	工事の発注年度を西暦 4 桁で記入する。	半角数字	4 固定	☐	◎	
	工事番号	<u>発注者が定める案件番号(9 桁)を記入する。</u>	半角数字	127	☐	◎	
	工事名称	契約書に記載されている正式の工事名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場 所 情 報	測地系		日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	☐	◎
	水 系 路 線 情 報	対象水系 路線名	<u>港湾・海岸・空港名称を記入する。(資料－1 参照)。</u>	全角文字 半角英数字	127	<u>☐</u>	<u>◎</u>
		現道－旧道 区分	「現道:1」、「旧道:2」「新道:3」「未調査:0」のいずれかを記入する。	半角数字	1 固定	☐	○

4. CAD 製図基準の運用

CAD 製図基準（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

4.1. 表題欄

1. 表題欄の位置
表題欄は、図面の右下隅輪郭線に接して記載することを原則とする。

2. 表題欄の様式
表題欄の寸法及び様式は、下図を標準とする。

年 度	平成〇〇年度	図面番号	
工 事 名			
図面名称			
縮 尺		単 位	
設計年月		組 数	
国土交通省 〇〇地方整備局 〇〇港湾・空港整備事務所			

単位 (mm)

【解説】

- (1) 表題欄は、図面の管理上必要な事項、図面内容に関する定形的な事項などをまとめて記入するためのものである。ただし、運用上、本ガイドラインによりがたい場合はその一部を変更して使うことができるものとする。また、大きさについては土木製図基準等に準じることとし、幅は 170mm 以下とする。
- (2) 表題欄を見る向きは、図面の正位に一致するようにする。
- (3) 図面内に複数の尺度が存在する場合には、図の上部に記載する表題の近傍に表題より少し小さい文字の大きさで尺度を併記するとともに、表題欄には代表的な尺度もしくは「図示」を記載する。
- (4) 平面図、縦断図等で表題欄と図形情報が重なる場合には、右上隅に記載してもよい。
- (5) 上記の表題欄の寸法は A1 サイズの図面に対するものであるため、サイズの小さい図面では作図領域を確保することを考慮して適宜小さくして良い。

4.2.図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については下記の規定に従う

- ・ 共通情報 — 対象工種
- ・ 共通情報 — 追加工種
- ・ 図面情報 — 作成者名
- ・ 図面情報 — 縮尺

【解説】

「CAD 製図基準」1 総則 1-6 成果品 1-6-2 図面管理項目 参照。

表 4-1 図面管理項目

分類	No.	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
共通情報	1	適用要領基準*A)	図面作成時に適用した本基準を土木201603-01等の記入例に従い記入する。 (分野:土木、西暦年:2016、月:03、版:01)	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値)*B) ※	本基準で対象とする34 工種と地質を001～035 の数値で記入する。その他の追加工種がある場合は、追加工種を101～999 の数値で昇順で記入する。なお、101～999 の数値を記入した場合には、3、4の項目を必ず記入する。	半角数字	3	□	◎
	3	追加工種 (数値)	本基準で定義していない工種を追加する場合は、101～999 の数値を記入する。	半角数字	3	□	○
	4	追加工種 ※ (概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ名 称	サブフォルダを作成した時のサブフォルダ名称を記入する。重複名称は不可。	半角英数字	8	□	○
	6	追加サブフォルダ名 称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記入する図面名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する	半角英数字大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	半角数字	3		
	13	対象工種*B) (数値)	本基準で対象とする34 工種と地質を001～035 の数値で記入する。その他の追加工種がある場合は、追加工種を101～999 の数値で昇順で記入する。なお、101～999 の数値を記入した場合には、3、4の項目を必ず記入する。	半角数字	3		

「CAD 製図基準」抜粋



(港湾空港における読み替え)

表 4-1 図面管理項目

分類	No.	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
共通情報	1	適用要領基準*A)	図面作成時に適用した本基準を土木201603-01等の記入例に従い記入する。(分野：土木、西暦年：2016、月：03、版：01)	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値)*B) ※	「本要領」で対象とする工種を表4-2～表4-4から選択し、数値(501～520又は001～035)で記入する。対象工種の選択に際しては、表4-2を優先する。その他の追加工種がある時は、追加工種を601～999の数値で記入する。なお、追加工種を記入した場合には、3、4を必ず記入する。	半角数字	3	□	◎
	3	追加工種 ※	「本要領」で定義していない工種を追加する場合は、601～999の数値を記入する。	半角数字	3	□	○
	4	追加対象工種 (概要) *1)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ 名称	サブフォルダを作成した時のサブフォルダ名称を記入する。重複名称は不可。	半角英数字	8	□	○
	6	追加サブフォルダ 名称の概要 ※	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記入する図面名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	◎
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する	半角英数大文字	12		
	9	作成者名	図面を作成した会社名を記入する。	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	図面尺度を記入する。複数の尺度が混在する場合は、代表尺度もしくは図示(zushi)を記入する。	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	半角数字	3		
	13	対象工種*B) (数値)	「本要領」で対象とする工種を表4-2～表4-4から選択し、数値(501～520又は001～035)で記入する。対象工種の選択に際しては、表4-2を優先する。その他の追加工種がある時は、追加工種を601～999の数値で記入する。	半角数字	3		

*A) 本基準の分類は、以下のとおり。

平成 14 年 3 月版 港湾 200203
平成 15 年 3 月版 港湾 200303
平成 16 年 3 月版 港湾 200403
平成 17 年 3 月版 港湾 200503-01
平成 20 年 5 月版 土木 200805-01
平成 28 年 3 月版 土木 201603-01

*B) 対象工種に記入する数値は、表 4-2～表 4-4 から選択する。

対象工種に入力する港湾施設関連の工種一覧表を下表に示す。

表 4-2 対象工種一覧（その 1）

大分類	中分類	小分類	入力数値	備 考
港湾編	水域施設	航路	501	
		泊地及び船だまり 他		
	外郭施設	防波堤	502	
		防砂堤		
		防潮堤		
		導流堤		
		護岸		
		堤防		
		突堤		
		胸壁		
		水門		
		航路門 他		
	係留施設	岸壁	503	
		係船浮標		
		係船くい		
		さん橋		
		浮さん橋		
		物揚場		
		船揚場 他		
	臨港交通施設	道路（車道）	504	
		道路（歩行者専用道）		
		道路（トンネル）		
		駐車場		
		橋りょう		
		鉄道又は軌道		
		運河		
		ヘリポート		
	荷さばき施設及び移動式荷役機械	上屋 他	505	
	廃棄物処理施設並びに廃棄物の処理の用に供する船舶及び車両	廃棄物護岸 他	506	
		廃棄物受入れ施設		
	港湾環境整備施設	海浜	507	
		緑地 他		
	その他港湾施設	その他施設	508	
港湾海岸編	海岸施設	堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁	509	
		突堤		
		離岸堤、人工リーフ、消波堤		
		高潮・津波防波堤		
		人工岬		
		人工海浜		
		付帯設備		
		その他の港湾海岸施設		
	その他の港湾海岸施設	その他施設	510	
空港編	空港用地	空港用地	511	
		護岸		
		揚陸施設		
		場内排水施設		
		空港法面		
		道路法面		
		航空保安施設用地		
		場外排水施設		
		擁壁		
		ダム・調節池		
		調整池		
	基本施設	滑走路	512	
		誘導路		
		エプロン		
		着陸帯・滑走路端安全区域		
		誘導路帯		
	付帯施設	場周道路	513	
		場周柵		
		プラスチックフェンス		
		門扉		

表 4-3 対象工種一覧（その 2）

大分類	中分類	小分類	入力数値	備 考
空港編	構内道路	車道	514	
		歩道		
		橋梁・歩道橋		
		擁壁（構内道路）		
		案内標識版		
		緑地		
	地下構造物	鉄軌道地下隧道	515	
		トンネル		
		照明共同港		
		公益共同港		
		消防水利		
	ライフライン	上水道施設	516	
		下水道施設		
		事業者施設		
	進入灯橋梁	進入灯橋梁	517	
	駐車場	立体駐車場	518	
		平面駐車場		
		バスプール		
		タクシープール		
	気象施設	気象管路	519	
	その他	鉄軌道高架橋	520	
		消防訓練施設		
		その他施設		

表 4-4 対象工種一覧（その 3）

No	対象工種	入力数値	No	対象工種	入力数値
1	道路	001	20	離岸堤、潜堤、人工リーフ、消波堤	020
2	歩道	002	21	高潮・津波防波堤	021
3	平面交差点	003	22	人工岬	022
4	立体交差	004	23	人工海浜、砂浜	023
5	道路休憩施設	005	24	付帯設備	024
6	一般構造物	006	25	砂防ダム及び床固工	025
7	地下横断歩道等	007	26	流路工（溪流保全工）	026
8	共同溝	008	27	土石流対策工及び流木対策工	027
9	電線共同溝	009	28	護岸工	028
10	地下駐車場	010	29	山腹工	029
11	山岳トンネル	011	30	重力式コンクリートダム	030
12	シールドトンネル（立坑）	012	31	ゾーン型フィルダム	031
13	開削トンネル	013	32	宅地開発	032
14	橋梁	014	33	公園（基盤整備）	033
15	護岸	015	34	管路（下水道）	034
16	樋門・樋管、堰、水門、排水機場	016	35	地質*	035
17	床止め	017	-	空き	036～100
18	堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁	018			
19	突堤	019			

4.3. ファイル名

作成する CAD 図面のファイル名、並びに添付するファイル名は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-2.CAD データの名称の規定に従う。具体的な図面種類は、下表に従う。

ライフ サイクル	整理 番号	ファイル名				図面種別名	備考
		図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張子		
S D C M	0～9	LC	001～	0～9	拡張子	位置図	
		PL	999	A～Z		平面図，配置図	
		TS				標準断面図	
		CS				横断面図	
		PF				縦断面図，正面図	
		GS				(一般)構造図	
		DT				詳細図，製作図	
		AB				配筋図	

ファイル名の規定は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-2. CAD データの名称の規定に従う。ただし、ファイル名における港湾施設に関する具体的な図面種類は上表を参照する。

4.4. レイヤ名

レイヤ名の規定は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-5.レイヤ名
の規定に従う。ただし、港湾施設に関する具体的なレイヤ名については資料－2を参照
する。

5. デジタル写真管理情報基準の運用

デジタル写真管理情報基準（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

5.1. 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル (PHOTO.XML) のうち、写真一大分類が「工事」の場合、工種以下の項目について分類が明確で記入可能であれば、港湾工事では(資料-3)「港湾工事工種体系ツリー」、空港土木工事においては(資料-4)「空港土木工事工種体系ツリー」に記載されているレベル 2、レベル 3、及びレベル 4 の項目をそれぞれ**工種、種別、細別**として入力するものとする。

- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 工種
- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 種別
- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 細別

なお、写真一大分類が「工事」以外の場合には、工種、種別及び細別の欄は、自由記入とする。

写真タイトルは、撮影写真の内容がわかるように、港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理に示されている撮影項目、撮影箇所、撮影時期に相当する内容を記入する。

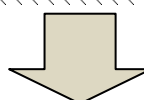
【解説】

デジタル写真管理情報基準の写真管理ファイル (PHOTO.XML) を作成するに際して、撮影工種区分—工種、種別、細別については、新土木積算大系において網羅されていない港湾空港関係工事の工種、種別、細別を明確にするために、港湾工事では資料-3「港湾工事工種体系ツリー」、空港土木工事においては 資料-4「空港土木工事工種体系ツリー」に記載されているレベル 2、レベル 3、及びレベル 4 の項目をそれぞれ工種、種別、細別として入力するものとする。

また、写真タイトルについては、港湾空港関係の事業では、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」に則って行われていることから、港湾工事写真管理基準、調査業務写真管理基準、または空港土木工事共通仕様書写真管理、地質・土質調査・試験業務の写真管理に示される撮影内容を記入するものとする。

表 5-1 写真管理項目(1/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	撮影工種区分	工種 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		種別 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		細別 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		写真タイトル 写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	☐	◎



(港湾空港における読み替え)

表 5-1 写真管理項目(1/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	撮影工種区分	工種 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル2「工種」(資料-3, 4 参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		種別 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル3「種別」(資料-3, 4 参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		細別 土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル4「細別」(資料-3, 4 参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	☐	○
		写真タイトル 写真の撮影内容がわかるように、 <u>港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理の撮影項目、撮影箇所、撮影時期</u> に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	☐	◎

5.2.撮影頻度と提出頻度の取り扱い

写真の原本を電子媒体で提出する場合は、**港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理**に示される撮影基準に基づくものとする。

【解説】

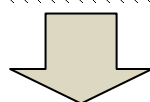
デジタル写真管理情報基準では、「8.撮影頻度と提出頻度の取り扱い」で写真管理基準に示される撮影頻度に基づくものと規定されている。

しかしながら、港湾空港関係の事業においては、「港湾工事共通仕様書」または「空港土木工事共通仕様書」の規定に基づき工事が遂行されており、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」に則って調査業務が実施されている。

したがって、撮影頻度等についてはそれぞれの共通仕様書に記載されている写真管理の規定に基づくものとする。

表 5-2 写真管理項目(2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	代表写真	写真管理基準の撮影箇所一覧表に示される提出頻度が不要以外写真の中から工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	☐	◎
	提出頻度写真	写真管理基準(案)の整理条件に基づく写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	☐	◎



(港湾空港における読み替え)

表 5-2 写真管理項目(2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	代表写真	港湾工事写真管理基準に示される写真の中から工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	☐	◎
	提出頻度写真	港湾工事写真管理基準の撮影基準に基づいて発注者と協議の結果提出頻度写真と判断された写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	☐	◎

6. 地質・土質調査成果電子納品要領（案）の運用

地質・土質調査成果電子納品要領（案）（平成 20 年 12 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

6.1.CAD 図面データ作成の基準

地質平面図及び地質断面図を CAD により作成する場合、「CAD 製図基準」の総則に準拠しつつ本書「4.CAD 製図基準の運用」に従って作図するものとする。

【解説】

地質・土質調査成果電子納品要領（案）の中では、地質平面図及び地質断面図の“CAD における作図の基本については、別途定められた「CAD 製図基準」の総則に従うことを原則とする”としている。

港湾空港関係の事業では、CAD 図面の作成は CAD 製図基準に準拠しつつ本書「4.CAD 製図基準の運用」に従うものとしており、地質・土質調査成果電子納品要領（案）の適用においても、同様に CAD 製図基準に準拠しつつ本書「4.CAD 製図基準の運用」に従うものとする。

7. 測量成果電子納品要領の運用

測量成果電子納品要領（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

7.1.適用

測量成果電子納品要領「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	測量業務共通仕様書(案)又は測量作業共通仕様書(案)	各地方整備局等



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

7.2.成果品の管理項目

成果品の管理項目のうち業務管理ファイル（INDEX_D.XML）は、「土木設計業務等の電子納品要領」を参照することになっている。

このため、業務管理ファイルの作成に際しては、「土木設計業務等の電子納品要領」とともに、本資料「2.2 成果品の管理項目」によるものとする。

【解説】

測量成果電子納品要領（平成 28 年 3 月）では、業務管理ファイル（INDEX_D.XML）に関する規定がなく、「土木設計業務等の電子納品要領」を参照することとなっている。

このため、業務管理項目として記入する対象水系路線コード及び対象水系路線名については、本資料「2.2 成果品の管理項目」によるものとした。

8. 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編の運用

土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

8.1.適用

土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信施設設計業務共通仕様書	国土交通省
2	地質・土質調査共通仕様書(案)	各地方整備局
3	測量作業共通仕様書(案)	各地方整備局



（港湾空港における読み替え）

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	編集又は発行所
1	電気通信施設設計業務共通仕様書	国土交通省
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

8.2.成果品の管理項目

8.2.1.業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_ED.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号(9桁)**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象路線水系コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

本資料「2.2.1 業務管理項目」参照。

8.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「**港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書**」の「**成果物**」または「**空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書**」の「**成果品**」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

本資料「2.2.2 報告書管理項目」参照。

9. 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編の運用

工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

9.1.適用

工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局



（港湾空港における読み替え）

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

9.2.フォルダ構成

9.2.1.「REGISTER」フォルダ

港湾空港関係の事業では、「REGISTER」フォルダに格納すべき電子成果物が該当しないため、「REGISTER」フォルダを作成しない。

【解説】

本資料「3.2.1「REGISTER」フォルダ」参照。

9.2.2.「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名を ORG004～ORGnnn とし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

本資料「3.2.2「OTHRs」フォルダ」参照。

9.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_EC.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号（9 桁）**を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_EC.XML）の作成に際して、工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編では工事番号に CCMS 設計書番号（8 桁～16 桁）を記入することとなっているが、案件番号（9 桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名等については、コリンズの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事実施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料－1 参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

10. CAD 製図基準 電気通信設備編の運用

CAD 製図基準 電気通信設備編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

10.1. 表題欄

表題欄の記載事項及び様式については、本書「4.CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従う。

【解説】

港湾空港関係の事業における土木施設図面と電気通信設備図面の表記を合わせるため、表題欄の記載事項と様式については本書「4.CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従うものとする。

10.2. 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については、下記の規定に従う。

- ・ 共通情報 — 対象工種
- ・ 共通情報 — 追加工種
- ・ 図面情報 — 作成者名
- ・ 図面情報 — 縮尺

【解説】

「CAD 製図基準 電気通信設備編」1 総則 1-4 成果品 1-4-2 図面管理項目 参照。

11. 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編の運用

土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

11.1. 適用

土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

本資料「2.1 適用」参照。

11.2. 成果品の管理項目

11.2.1. 業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_MD.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号(9 桁)**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象路線水系コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線等コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

本資料「2.2.1 業務管理項目」参照。

11.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」の「成果物」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」の「成果品」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

本資料「2.2.2 報告書管理項目」参照。

12. 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編の運用

工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

12.1.適用

工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	発行又は監修
1	機械工事共通仕様書(案)	国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 発行
2	機械工事完成図書等作成要領(案)	国土交通省総合政策局 建設施工企画課 発行
3	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局 監修



（港湾空港における読み替え）

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	発行又は監修
1	機械工事共通仕様書(案)	国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 発行
2	機械工事完成図書等作成要領(案)	国土交通省総合政策局 建設施工企画課 発行
3	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
4	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

12.2. フォルダ構成

12.2.1. 「REGISTER」フォルダ

港湾空港関係の事業では、「REGISTER」フォルダに格納すべき電子成果物が該当しないため、「REGISTER」フォルダを作成しない。

【解説】

本資料「3.2.1 「REGISTER」フォルダ」参照。

12.2.2. 「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名を ORG004～ORGnnn とし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

本資料「3.2.2 「OTHRs」フォルダ」参照。

12.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号（9 桁）**を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）の作成に際して、工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編では工事番号に CCMS 設計書番号（8 桁～16 桁）を記入することとなっているが、案件番号（9 桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名等については、コリンズの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事実施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料－1 参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

13. CAD 製図基準 機械設備工事編の運用

CAD 製図基準 機械設備工事編（平成 28 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

13.1. 表題欄

表題欄の記載事項及び様式については、本書「4.CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従う。

【解説】

港湾空港関係の事業における土木施設図面と機械設備図面の表記を合わせるため、表題欄の記載事項と様式については本書「4.CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従うものとする。

13.2. 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については、下記の規定に従う。

- ・ 共通情報 — 対象工種
- ・ 共通情報 — 追加工種
- ・ 図面情報 — 作成者名
- ・ 図面情報 — 縮尺

【解説】

「CAD 製図基準 機械設備工事編」1 総則 1-5 成果品 1-5-2 図面管理項目 参照。

資料－1

港湾・海岸・空港コード一覧表

港湾・海岸・空港コード一覧表

1. 北海道

港湾コード	港湾名称
01001	室 蘭
01002	稚 内
01003	苫小牧
01004	函 館
01005	小 樽
01006	釧 路
01007	留 萌
01008	森
01009	江 差
01010	瀬 棚
01011	奥 尻
01012	余 市
01013	石 狩
01014	岩 内
01015	浦 河
01016	えりも
01017	根 室
01019	羽 幌
01020	焼 尻
01021	天 売
01022	増 毛
01023	天 塩
01024	鷺 泊
01026	枝 幸
01028	香 深
01029	杓 形
01030	網 走
01032	松 前
01033	霧多布
01034	宗 谷
01035	十 勝
01036	樺法華
01037	昆布刈石
01039	堀 株
01040	西恵山
01043	浜猿払
01044	忠 類
01045	崎無異
01046	石狩湾新
01048	紋 別
01049	白 老

2. 青森県

港湾コード	港湾名称
02001	青 森
02002	八 戸
02003	大 間
02004	川 内
02005	大 湊
02006	野辺地
02007	小 湊
02008	深 浦
02009	尻屋岬
02010	子ノ口
02011	休 屋
02012	むつ小川原

2. 青森県

港湾コード	港湾名称
02013	七里長浜
02014	関根浜
02020	仏ヶ浦

3. 岩手県

港湾コード	港湾名称
03001	宮 古
03002	大船渡
03003	釜 石
03005	八 木
03006	久 慈
03007	小 本

4. 宮城県

港湾コード	港湾名称
04001	仙台塩釜
04003	雄 勝
04004	荻 浜
04006	女 川
04007	金華山
04008	気仙沼
04009	御 崎
04010	表 浜

5. 秋田県

港湾コード	港湾名称
05001	秋 田
05002	船 川
05003	能 代
05004	本 荘
05005	戸 賀

6. 山形県

港湾コード	港湾名称
06001	酒 田
06002	鼠ヶ関
06003	加 茂

7. 福島県

港湾コード	港湾名称
07001	小名浜
07002	江 名
07003	久之浜
07005	中之作
07006	翁 島
07007	湖 南
07008	相 馬

8. 茨城県

港湾コード	港湾名称
08001	鹿 島
08003	潮 来
08004	土 浦
08005	川 尻
08006	河原子
08007	軽 野
08009	茨 城

12. 千葉県

港湾コード	港湾名称
12001	千 葉
12002	木更津
12003	館 山
12004	興 津
12005	名 洗
12007	上総湊
12008	浜金谷

13. 東京都

港湾コード	港湾名称
13001	東 京
13002	元 町
13003	岡 田
13004	波 浮
13005	新 島
13006	神津島
13007	大久保
13008	八重根
13009	神 湊
13010	利 島
13011	御蔵島
13012	三 池
13013	青ヶ島
13014	式根島
13015	二 見
13017	沖
13018	大千代
13201	洞輪沢

14. 神奈川県

港湾コード	港湾名称
14001	横 浜
14002	川 崎
14003	横須賀
14004	大 磯
14005	真 鶴
14006	湘 南
14007	葉 山

15. 新潟県

港湾コード	港湾名称
15001	新 潟
15002	両 津
15003	直江津
15004	柏 崎
15005	寺 泊
15007	岩 船
15008	二 見
15009	赤 泊
15010	姫 川
15012	小 木

16. 富山県

港湾コード	港湾名称
16001	伏木富山
16002	魚 津

17. 石川県

港湾コード	港湾名称
17001	七 尾
17002	金 沢
17003	穴 水
17004	宇出津
17005	小 木
17006	飯 田
17007	輪 島
17008	福 浦
17009	滝
17010	塩 屋
17011	和 倉
17014	半ノ浦

18. 福井県

港湾コード	港湾名称
18001	敦 賀
18003	和 田
18004	鷹 巣
18005	福 井
18006	内 浦

22. 静岡県

港湾コード	港湾名称
22001	清水
22002	田子の浦
22003	沼 津
22004	相 良
22005	土 肥
22006	松 崎
22007	伊 東
22008	熱 海
22009	下 田
22010	浜 名
22012	宇久須
22013	手 石
22014	榛 原
22015	大井川
22016	御前崎

23. 愛知県

港湾コード	港湾名称
23001	名古屋
23002	衣 浦
23003	三 河
23004	師 崎
23005	常 滑
23006	吉 田
23007	伊良湖
23008	福 江
23009	倉 舞
23010	内 海
23011	泉
23012	富具崎
23013	馬 草
23014	東幡豆
23015	河 和

24. 三重県

港湾コード	港湾名称
24001	四日市
24002	尾 鷲
24003	桑 名
24004	千代崎
24005	津松阪
24006	白 子
24008	宇治山田
24009	五ヶ所
24010	吉 津
24011	鳥 羽
24012	的 矢
24013	浜 島
24014	長 島
24015	引 本
24016	木 本
24017	二木島
24018	鵜 殿
24019	賀 田
24020	賢 島
24021	三木里

25. 滋賀県

港湾コード	港湾名称
25001	大 津
25002	彦 根
25003	長 浜
25004	竹生島

26. 京都府

港湾コード	港湾名称
26001	舞 鶴
26002	久美浜
26003	宮 津
26004	伏 見

27. 大阪府

港湾コード	港湾名称
27001	大 阪
27002	堺泉北
27003	阪 南
27004	淡 輪
27005	深 日
27006	尾 崎
27008	二 色
27009	泉佐野
27010	泉 州

28. 兵庫県

港湾コード	港湾名称
28001	神 戸
28002	姫 路
28003	尼崎西宮芦屋
28004	東播磨
28006	明 石
28007	岩 屋
28008	津 名
28009	洲 本
28010	津居山
28011	柴 山
28012	江井ヶ島
28013	相 生
28014	赤 穂
28015	由 良
28016	阿 万
28017	福 良
28018	都 志
28019	湊
28020	郡 家
28021	室 津
28022	竹 野
28023	家 島
28024	坂 越
28025	浦
28026	津 井
28027	江 井
28028	古 池
28029	古茂江
28031	山 田
28032	淡路交流の翼

30. 和歌山県

港湾コード	港湾名称
30001	和歌山下津
30002	文 里
30003	大 川
30004	勝 浦
30005	由 良
30006	加 太
30007	湯浅広
30008	浦 神
30009	宇久井
30010	袋
30011	日 置
30012	古 座

港湾・海岸・空港コード一覧表

30. 和歌山県

港湾コード	港湾名称
30013	日 高
30014	大 島
30015	新 宮
30016	池 田

31. 鳥取県

港湾コード	港湾名称
31001	米 子
31002	赤 碕
31004	田 後
31005	小 浜
31006	石 脇
31007	逢 坂
31008	豊 成
31009	中 浜
31010	鳥 取
31999	境

32. 島根県

港湾コード	港湾名称
32001	浜 田
32002	西 郷
32003	松 江
32004	益 田
32005	久 手
32006	河 下
32007	七 類
32008	江 津
32009	安 来
32010	田 儀
32011	知々井
32012	別 府
32013	来 居
32014	小田東
32015	大津久
32016	飯 美
32017	卯 敷
32018	灘 山
32019	山 谷
32020	島津屋
32021	魚 津
32022	国 賀
32023	生 湯
32024	伊野灘
32025	釜
32026	伊 後
32027	西 村
32028	二 俣
32029	黒 田
32030	中 山
32032	波 入
32033	遅 江
32034	吉 浦 (浜田)
32037	宅 野
32038	舟 津
32039	網 屋
32040	波 止
32041	宇 賀

32. 島根県

港湾コード	港湾名称
32042	美 田
32044	物 井
32045	倉の谷
32048	古 海
32049	竹 名
32050	木佐根
32051	姫の浦
32052	堤
32053	御 波
32054	保々見
32055	須 賀
32056	日之津
32057	諏 訪
32058	長尾田
32059	代
32060	重 柄
32061	笠 浦
32062	千 酌
32063	菅 浦
32064	笹 子
32065	惣 津
32066	法 田
32067	諸 喰
32068	軽 尾
32069	才
32070	海 崎
32072	佐 波
32073	吉 浦 (大田)
32074	高 島
32075	遠 田
32076	持 石
32077	喜阿弥
32078	論 田
32080	意 東
32081	入 江
32082	寺 津 (八束)
32083	二 子
32084	江 島
32085	手 角
32087	揖 屋
32088	長 江
32089	秋 鹿
32090	岡 本
32091	湯 町
32092	温泉津
32093	海 士
32094	寺 津 (松江)
32095	秋鹿北
32096	三 隅
32097	汐 浜
32098	小津久

33. 岡山県

港湾コード	港湾名称
33001	宇 野
33002	水 島
33003	岡 山
33004	東 備
33007	牛 窓
33010	山 田
33011	北木島
33012	下津井
33013	笠 岡
33015	児 島
33016	寒 河
33018	鴻 島
33019	久々井
33020	布 浜
33021	間 口
33022	知 尾
33023	玉 津
33024	幡
33026	網 代
33027	黄 島
33029	師 楽
33030	犬 島
33031	米 倉
33032	松 尾
33033	江の浜
33034	石 島
33035	後 閑
33036	大 藪
33037	野々浜
33040	波 川
33041	大 浜
33042	松 島
33044	豊 浦
33045	丸 岩
33046	小飛島
33047	大 浦
33048	大飛島
33049	前 浦

34. 広島県

港湾コード	港湾名称
34001	福 山
34002	尾道糸崎
34003	広 島
34004	呉
34005	横 田
34006	中 浜
34007	瀬戸田
34008	重 井
34009	土 生
34010	大 西
34011	忠 海
34012	竹 原
34013	木 江
34014	鯉 崎
34015	御手洗

34. 広島県

港湾コード	港湾名称
34016	安芸津
34017	浦 刈
34018	川 尻
34019	釣土田
34020	大 柿
34021	鹿 川
34023	厳 島
34024	大 竹
34025	千 年
34026	佐 木
34027	中 田
34028	小 用 (江田島)
34029	生 口
34030	三 高
34031	鷺部矢ノ浦
34032	大 須
34033	津久茂
34034	阿伏兔
34036	大 迫
34037	袋の内
34038	奥の内
34039	波多見
34040	吉 恵
34041	小 用 (川尻)
34042	福 田
34044	棕 浦
34045	鹿 田
34046	内 海
34047	須 波

35. 山口県

港湾コード	港湾名称
35001	下 関
35002	徳山下松
35003	岩 国
35004	三田尻中関
35005	宇 部
35006	小野田
35007	柳 井
35008	久 賀
35009	小 松
35010	室 津
35011	厚 狭
35012	特 牛
35013	萩
35014	角 島
35015	油 谷
35016	由 宇
35017	大 島
35018	伊保田
35019	山 口
35020	平 生
35021	丸 尾
35022	秋 穂
35023	青 江
35024	柱 島
35025	白 木
35026	日良居

35. 山口県

港湾コード	港湾名称
35027	油 良
35028	笠 佐
35029	沖 浦
35030	壺 生
35031	小 串
35032	仙 崎
35033	深 川
35034	飯 井
35035	尾 島
35036	櫃 島
35037	羽 島
35038	相 島
35039	田 部
35040	須 佐
35041	安下庄
35042	肥 島
35043	沖浦西
35044	山口東

36. 徳島県

港湾コード	港湾名称
36001	徳島小松島
36002	橘
36003	折 野
36004	撫 養
36005	今 切
36006	富 岡
36007	日和佐
36008	浅 川
36009	那 佐
36010	中 島
36011	亀 浦
36012	粟 津

37. 香川県

港湾コード	港湾名称
37001	高 松
37002	坂 出
37003	引 田
37004	三本松
37005	津 田
37006	志 度
37007	直 島
37008	宇多津
37009	丸 亀
37010	多度津
37011	詫 間
37012	仁 尾
37013	豊 浜
37014	池 田
37015	白 鳥
37016	土 庄
37017	坂 手
37018	牟 礼
37019	大 部
37020	内 海
37021	観音寺
37022	土庄東

37. 香川県

港湾コード	港湾名称
37023	家 浦
37024	風 戸
37025	屏 風
37026	宮 浦
37027	青 木
37028	手 島
37029	葛 原
37030	大 島
37031	室 本
37032	女 木
37033	男 木
37034	立 石
37035	石 場
37036	長崎鼻
37037	粟 島
37038	志々島
37039	船 越
37040	箱 浦
37041	粟島西
37042	船 隠
37043	久 通
37044	猪 塚
37046	与 島
37048	木 沢
37049	江の浦
37050	大 浦
37051	本 島
37052	三 都
37053	室生北
37054	吉野崎
37055	庵 治
37056	里 浦
37057	新在家
37058	小 浦
37059	生ノ浜
37060	尻 浜
37061	馬 越
37062	小豊島
37063	北 浦
37064	江 島
37065	小 瀬
37066	高 見
37067	佐 柳
37068	見 立
37069	安 戸
37201	関 谷
37207	揚 島

港湾・海岸・空港コード一覧表

38. 愛媛県

港湾コード	港湾名称
38001	松 山
38002	宇和島
38003	新居浜
38004	今 治
38005	八幡浜
38006	東 予
38007	三島川之江
38009	寒 川
38010	伯 方
38011	菊 間
38012	北 条
38013	中 島
38014	松 前
38015	伊 予
38016	長 浜
38017	玉 津
38018	岩 松
38019	御 荘
38020	弓 削
38021	波止浜
38022	川之石
38023	波 方
38024	三 崎
38025	宮 浦
38026	吉 海
38027	大 見
38028	上 浦
38031	岡 村
38033	大 下
38034	田ノ浦
38035	早 川
38036	四 坂
38037	前 浜
38038	古 江
38039	枝 越
38040	熊 口
38041	有 津
38042	北 浦
38043	小 漕
38044	西 部
38045	長 江
38046	生 名
38047	立 石
38048	森 上
38049	堀 江
38050	伊 方
38051	三 机
38052	三 瓶
38053	吉 田
38056	西 中
38205	桜井河口

39. 高知県

港湾コード	港湾名称
39001	高 知
39002	須 崎
39003	甲 浦
39004	佐喜浜
39005	室 津
39006	奈半利
39007	手 結
39008	久 礼
39009	上ノ加江
39010	佐 賀
39011	上川口
39012	下 田
39013	下ノ加江
39014	以布利
39015	清 水
39016	三 崎
39017	下川口
39022	あしずり
39023	宿毛湾

40. 福岡県

港湾コード	港湾名称
40001	北九州
40002	博 多
40003	苅 田
40004	大 島
40005	若 津
40006	宇 島
40008	大牟田
40009	三 池
40010	芦 屋

41. 佐賀県

港湾コード	港湾名称
41001	唐 津
41002	伊万里
41003	住ノ江
41004	大 浦
41005	諸 富
41006	呼 子
41007	星 賀
41008	鹿 島
41009	仮 屋

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42001	長 崎
42002	厳 原
42003	郷ノ浦
42004	福 江
42005	佐世保
42006	島 原
42007	比田勝
42008	茂 木
42009	有 川
42010	崎 戸
42011	臼ノ浦
42012	田 平

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42013	瀬 戸
42014	脇 岬
42015	江 迎
42016	伊王島
42017	須 川
42018	宮 浦
42019	口ノ津
42020	肥前大島
42021	高 島
42022	小長井
42023	富 江
42024	勝 本
42025	平 戸
42026	印通寺
42027	西 郷
42028	小茂田
42029	大 村
42030	岐 宿
42031	若 松
42033	池 島
42034	佐 々
42035	川 内
42036	調 川
42037	彼 杵
42038	青 方
42039	鹿 見
42040	松 島
42041	時 津
42042	川 棚
42043	玉ノ浦
42044	多比良
42045	太田和
42046	仁 位
42047	竹 敷
42049	瀬 川
42050	仁 田
42051	相の浦
42052	福 島
42053	大 島
42054	小 浜
42055	佐須奈
42056	諫 早
42057	太田尾
42058	早 岐
42059	久 山
42060	松 浦
42061	古 里
42062	小 口
42063	大瀬戸柳
42064	田 結
42065	神 代
42066	七ッ釜
42070	石 田
42071	三 里
42072	淵ノ元
42073	曾 根
42075	堂 崎
42076	阿房下

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42078	古 江
42079	獅子吼
42080	床 浪
42082	東 望
42084	神 崎
42085	城ノ下
42086	岳 崎
42090	大川原
42094	三浦船津
42096	三 代
42098	鯨ヶ浦
42099	久 吹
42100	大 塔
42102	小波止
42103	原
42104	広 浦
42106	森ノ浜
42107	紐 差
42110	小瀬良
42112	大 川
42114	小 迎
42118	面 高
42119	中の浦
42120	堂 代
42122	浜 脇
42123	折 紙
42124	毛 吹
42129	カヅメ
42131	浜 窄
42133	芦ノ浦
42134	榎 津
42135	郷ノ首
42136	長 与
42137	神ノ浦
42138	杵 島
42140	曾ノ浦
42141	下 田
42142	峰

43. 熊本県

港湾コード	港湾名称
43001	三 角
43002	八 代
43003	水 俣
43004	佐 敷
43005	大 門
43006	長 洲
43007	富 岡
43008	姫 戸
43009	鬼 池
43010	本 渡
43011	百 貫
43012	大 浦
43013	高 浜
43014	河 内
43015	合 津
43016	上津深江
43017	都呂々

43. 熊本県

港湾コード	港湾名称
43020	天 草
43035	上天草
43036	日奈久
43040	荒 尾
43041	牛 深
43042	田 浦
43043	呑 崎
43052	鏡
43054	熊 本

44. 大分県

港湾コード	港湾名称
44001	大 分
44002	津久見
44003	別 府
44004	臼 杵
44005	高 田
44006	姫 島
44007	国 東
44008	日 出
44009	佐賀関
44010	佐 伯
44011	中 津
44016	丸市尾
44017	浦 代
44019	堅 来
44020	下の江
44021	守 江
44022	臼 野
44027	小高島
44029	羽 根
44030	真 玉

45. 宮崎県

港湾コード	港湾名称
45001	細 島
45002	油 津
45003	内 海
45004	福 島
45005	外 浦
45006	延 岡
45007	美々津
45009	古 江
45010	熊野江
45012	大 島
45015	延岡新
45016	平 岩
45017	宮 崎
45019	黒 井
45020	高 鍋
45021	大 納

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46001	鹿児島
46002	西之表
46003	名 瀬
46004	大 泊
46005	米之津
46006	西 方
46007	黒之浜
46008	瀬 戸
46009	指 江
46010	宮之浦（屋久島）
46011	川 内
46012	新 川
46013	指 宿
46014	宮ヶ浜
46015	加治木
46016	隼 人
46017	福 山
46018	垂 水
46019	桜 島
46020	鹿 屋
46021	高 須
46022	大根占
46023	根 占
46024	波 見
46025	志布志
46026	浜津脇
46027	島 間
46028	田之脇
46029	安 房
46030	宮之浦（長島）
46031	平土野
46032	湾
46033	亀 徳
46034	和 泊
46035	与 論
46036	中之島
46037	古仁屋
46038	硫黄島
46039	栗 生
46040	高之口
46042	大 漕
46043	小 漕
46044	八 郷
46047	獅子島
46049	長 島
46060	桑之浦
46061	江 石
46062	小 浦
46063	松ヶ浦
46064	西塩屋
46065	聖ヶ浦
46066	東塩屋
46067	平 崎
46068	瀬 崎
46069	魚 見

港湾・海岸・空港コード一覧表

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46071	竹 島
46072	片 泊
46073	大 里
46074	前之浜
46075	元 浦（十島）
46076	やすら浜
46077	南之浜
46079	浮 津
46080	二 川
46081	桜 島
46085	浜 尻
46087	内之浦辺塚
46088	大 浦
46089	岸 良
46091	大久保
46092	大 崎
46093	立 山
46094	伊 関
46096	浅 川
46097	王 籠
46098	上ノ古田
46099	馬毛島岬
46100	椎ノ木
46101	屋久津
46102	増 田
46103	牧 川
46104	大塩屋
46105	広 田
46106	田 尻
46107	門 倉
46108	楠 川
46109	柳 川
46110	湯 向
46112	岩屋泊
46113	上屋久永田
46114	尾之間
46115	小 島
46116	湯 泊
46117	中 間
46118	鯛ノ川
46119	赤木名
46120	大笠利
46121	屋 仁
46122	大 和
46124	湯 湾
46125	名 柄
46127	与 路
46130	加計呂麻
46132	篠 川
46133	讀 島
46135	戸 口
46136	山 間
46137	母 間
46138	鹿 浦
46139	面 縄
46144	喜界島
46145	伊 延
46146	長 浜

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46147	片 側
46148	住 吉
46150	里
46151	喜 入
46153	竜 郷
46160	切 石
46161	宝 島
46162	小宝島
46163	上屋久元浦
46164	串木野新
46175	和 野
46178	管 鈍
46179	円
46180	芦 徳
46181	百合ヶ浜
46182	東之浜
46183	知名瀬
46184	七ツ山

47. 沖縄県

港湾コード	港湾名称
47001	那 覇
47002	連 天
47003	平 良
47004	石 垣
47006	塩 屋
47007	古宇利
47008	伊 江
47011	本 部
47012	徳 仁
47013	前 泊（伊平屋）
47014	野 甫
47015	仲 田
47016	北大東
47019	南大東
47022	粟 国
47023	兼 城
47024	渡嘉敷
47025	安護の浦
47026	座間味
47027	長 山
47028	来間前浜
47029	水 納（多良間）
47030	多良間
47032	竹富東
47033	小 浜
47034	黒 島
47035	上 地
47036	仲 間
47038	船 浮
47039	白 浜
47040	祖 納（竹富）
47041	船 浦
47042	鳩 間
47043	祖 納（与那国）
47044	水 納（本部）
47049	慶留間
47050	金武湾
47051	中城湾
47052	奥
47053	宣野湾
47054	内 花

【海岸】

海岸コード	海岸名称
03301	釜 石（海岸）
03302	久 慈（海岸）
13301	東 京（海岸）
14301	横須賀（海岸）
15301	新 潟（海岸）
18301	福 井（海岸）
24301	津松阪（海岸）
30301	和歌山下津（海岸）
34301	広 島（海岸）
35301	下 関（海岸）
36301	撫養海岸
36302	徳 島（海岸）
37301	高 松（海岸）
38301	松 山（海岸）
39301	須 崎（海岸）
39302	高 知（海岸）
44301	別 府（海岸）
46301	指 宿（海岸）

【空港】

空港コード	空港名称
01801	函館空港
01802	釧路空港
01803	千歳飛行場
01804	新千歳空港
01805	稚内空港
01806	札幌飛行場（丘珠）
01807	旭川空港
01808	帯広空港
02801	三沢飛行場
04801	仙台空港
05801	秋田空港
06801	山形空港
08801	百里飛行場（茨城）
12801	成田国際空港
13801	東京国際空港
13802	調布飛行場
15801	新潟空港
17801	小松飛行場
23802	中部国際空港
27801	大阪国際空港
27802	八尾空港
27803	関西国際空港
31801	美保飛行場（米子）
34801	広島空港
35801	山口宇部空港
35802	岩国飛行場
36801	徳島飛行場
37801	高松空港
38801	松山空港
39801	高知空港
40801	北九州空港
40802	福岡空港
42801	長崎空港
43801	熊本空港
44801	大分空港
45801	宮崎空港
46801	鹿児島空港
47801	那覇空港

【その他】

その他コード	その他名称
60001	港湾局
60116	東北地方整備局管内
60117	関東地方整備局管内
60118	北陸地方整備局管内
60119	中部地方整備局管内
60120	近畿地方整備局管内
60121	中国地方整備局管内
60122	四国地方整備局管内
60123	九州地方整備局管内
60201	北海道開発局管内
60202	札幌開発建設部管内
60203	函館開発建設部管内
60204	小樽開発建設部管内
60205	室蘭開発建設部管内
60206	釧路開発建設部管内
60207	帯広開発建設部管内
60208	網走開発建設部管内
60209	留萌開発建設部管内
60210	稚内開発建設部管内
60301	沖縄総合事務局管内
60401	国土技術政策総合研究所（横浜資庁舎）
61001	中ノ瀬航路
61002	浦賀水道航路
61003	中山水道航路
61004	音戸瀬戸航路
61005	関門航路
61006	備讃瀬戸航路
61007	来島海峡航路
61008	鼻栗瀬戸航路
61009	奥南航路
61010	細木航路
61011	船越航路
61012	四国西南航路
61013	宮ノ窪瀬戸航路
61014	万閑瀬戸航路
61015	蝶蛾ノ瀬戸航路
61016	平戸瀬戸航路
61017	本渡瀬戸航路
61018	竹富南航路
62001	東京湾
62002	三河湾
62003	伊勢湾
62004	大阪湾
62005	瀬戸内海
62006	瀬戸内海（兵庫）
62007	瀬戸内海（和歌山）
62008	瀬戸内海（岡山）
62009	瀬戸内海（広島）
62010	瀬戸内海（山口）
62011	瀬戸内海（徳島）
62012	瀬戸内海（香川）
62013	瀬戸内海（愛媛）
62014	瀬戸内海（福岡）
62015	有明・八代海

資料－2
レイヤ名一覧表

1. 位置図

位置図の作成は以下の通りとする。

項 目	内 容
尺 度	対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	(1)対象位置(対象区域、対象区間)、延長(面積)、 施設名称、方位 (2)その他必要と認める事項
備 考	地形図、港湾計画図等のラスターデータを利用してもよい。

【解説】

位置図は、設計段階ではあまり再利用されないが、施工段階においては施工計画等に再利用されるため、電子化されたデータで納品することが望ましい。

基本となる地形図等が電子化されていない場合は、市販地図、港湾計画図をラスターデータに変換して利用することとなるが、国土地理院等著作権者の許諾を得る等の方策について、予め受発注者間で協議し設計を進めることが望ましい。

その他必要と認める事項には、以下の項目が挙げられる。

- ・工事の施工に必要となる(仮)基準点・水準点の位置と座標（2.平面図で作成する図面から外れた地点に位置する場合）

なお、位置図を平面図（ex.一般平面図、全体平面図）の一部として1枚の図面に描く場合には、平面図の規定にも準拠することとする。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	
		-HICN	等高線（等深線）の計曲線及びその標高	赤	
		-LWCN	等高線（等深線）の主曲線及びその標高	白	
		-RSTR	ラスター化された地図	—	
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰	
		-UGND	既設埋設物	茶	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BMK		基準線（中心線、法線、等）	黄	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点（座標ポイント）	緑	
		-ROW	用地境界	橙	
		-DRCT	方位	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-TXT	基準点座標等の文字列	白	
	-STR	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	実線
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑	
		-TIDE	潮位、水位（図）	明青	
		-WIND	風向、風速（図）	明青	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	凡例等の文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	
	-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意	任意

2. 平面図

平面図の作成は以下の通りとする。

項 目	内 容
尺 度	対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	(1) 測量段階で示される項目 ・地形(水中部を含む)、既設構造物位置、方位、工事に関する(仮)基準点・水準点の位置及び高さ ・用地境界線(水域境界を含む)、港湾名・地区名、主要施設名称 (2) 設計段階で示される項目 ・対象施設・部位名称、法線・中心線、延長・形状寸法 ・既設構造物との関係 ・その他必要と認める事項
備 考	測量に関する情報は、基本的に以下の通りとするが、特記仕様書等で別途規定がある場合はその規定を優先することとする。 (1) 測量の地形データと計画線を同じファイルに保存する。 (2) 測点は20m毎とし、起点から終点に向かって追番号または追記号及びそれらの組合せとする。 (3) 測点の配列方法は図面の左端(下端)を起点とし、右方向(上方向)に配列する。

【解説】

設計段階で作成する平面図は、対象施設を含む区域（範囲）と対象施設を、全体平面図、一般平面図、施設配置図等の図面名称で描かれる。

ここでは、これらの名称で作成される平面図を対象として規定した。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	
		-HICN	等高線（等深線）の計曲線及びその標高	赤	
		-LWCN	等高線（等深線）の主曲線及びその標高	白	
		-RSTR	ラスター化された地図	－	
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰	
		-UGND	既設埋設物	茶	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BMK		基準線（中心線、法線、等）	黄	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点（座標ポイント）	緑	
		-ROW	用地境界	橙	
		-DRCT	方位	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-STR	-TXT	基準点座標等の文字列	白	実線
		-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-DCR	-DIM	寸法線、寸法値	白	
		-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑	
		-TIDE	潮位、水位（図）	明青	
		-WIND	風向、風速（図）	明青	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	凡例等の文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	
	-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意	任意

3. 標準断面図・横断面図

標準断面図・横断面図の作成は以下の通りとする。

項 目		内 容
尺 度		対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	標準断面図	標準断面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 施設法線、中心線 (3) 現況地盤線、推定地層境界線(推定支持層線を含む) (4) 潮位 (5) 既設構造物及びその位置関係 (6) その他必要と認める事項
	横断面図	横断面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 施設法線、中心線 (3) 現況地盤線 (4) 潮位 (5) 既設構造物及びその位置関係 (6) 測点・測線番号 (7) その他必要と認める事項
備 考		縦横比の異なる図面を作図する場合には、使用するCADソフトにより対応が異なるため、対応方法を関係者間で協議する。

【解説】

標準断面図は、対象区間のうち代表的な断面及び特殊な断面について作成するものとする。

設計で使用した地質調査結果がある場合、あるいは設計で想定した地質想定結果が数量算定や工事施工に影響する場合には、推定地層境界線（推定支持層線を含む）を標準断面図・横断面図に記載するものとする。

横断面図は原則として表題欄に重ならないようにする。ただし、横断面図の横幅が大きく表題欄の余白が確保できない場合には、表題欄の位置を変更してもよいこととする。

横断面図の視方向は、起点から終点方向とすることを原則とする。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	
		-EXGL	現況地盤線	青紫	
		-BNDR	推定地層境界線	青	
		-ETRL	推定支持層線	青	
		-UGND	既設埋設物	茶	
		-BRG	ボーリング柱状図	任意	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BMK	-BMK1	構造物基準線1（中心線、法線、用地境界線、等）	黄	一点鎖線
		-BMK2	構造物基準線2（標高の目盛、破断線）	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	実線
	-STR	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	実線
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑	
		-TIDE	潮位、水位（図）	明青	
		-WIND	風向、風速（図）	明青	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	凡例等の文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	
	-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意	任意

4. 縦断図・正面図

縦断図及び正面図の作成は以下の通りとする。

項 目		内 容
尺 度		縮尺は、以下を標準とする。 $H=1:1 \times 10^n$ 、 $V=1:2 \times 10^{(n-1)}$ 、または、 $H=1:1 \times 10^n$ 、 $V=1:5 \times 10^{(n-1)}$ なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	縦断図	縦断図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 現況地盤線、推定地層境界線(推定支持層線を含む) (3) 潮位 (4) 既設構造物及びその位置関係 (5) 帯部は以下の順番に記載する。 1) 縦断勾配線 2) 計画高(計画天端高、計画基礎マウンド高、等) 3) 現況地盤高 4) 追加距離 5) 単距離 6) 測点・測線番号 (6) その他必要と認める事項
	正面図	正面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 現況地盤線 (3) 潮位 (4) 既設構造物及びその位置関係 (5) 測点・測線番号 (6) その他必要と認める事項
	備 考	縦横比の異なる図面を作図する場合には、使用するCADソフト

【解説】

縦断図及び正面図の作成に際しては、以下の点についても留意する。

- ・ 起点を左に、終点を右にすることを原則とする。
- ・ 平面図と正面図（または縦断図）を併記する場合には、上段に平面図、下段に正面図（または縦断図）を作図する。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
		-BAND	縦断図の帯	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	
		-EXGL	現況地盤線	青紫	
		-BNDR	推定地層境界線	青	
		-ETRL	推定支持層線	青	
		-UGND	既設埋設物	茶	
		-BRG	ボーリング柱状図	任意	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BMK	-BMK1	構造物基準線1（中心線、法線、用地境界線、等）	黄	一点鎖線
		-BMK2	構造物基準線2（標高の目盛、破断線）	黄	
	-STR	-HTXT	旗揚げ	白	
		-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	実線
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑	
		-TIDE	潮位、水位（図）	明青	
		-WIND	風向、風速（図）	明青	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	凡例等の文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	任意
	-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意	

5. 構造図・詳細図・製作図

構造図、詳細図、製作図の作成は以下の通りとする。

項 目		内 容
尺 度		縮尺は、以下を標準とする。 1:1×10 ⁿ 、1:2×10 ⁿ 、または、5×10 ⁿ なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	構造図 詳細図 製作図	記載項目は、以下を基本とする。 (1)対象構造物の側面図、平面図、断面図と名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2)材料表(名称、規格・寸法、数量、等) (3)その他必要と認める事項
備 考		1枚の図面に異なる尺度の構造物を複数作図する場合には、使用するCADソフトにより対応が異なるため、対応方法を関係者間で協議する。

【解説】

形状の表示において、形鋼、鋼矢板・鋼杭、薄板構造等の表示は、実寸で表すのが望ましい。このとき板材の形状を図示する場合、板の厚みを2本の線で表現する。

なお、紙に出力した場合見えにくくなる部分に関しては、寸法の表現で対応するものとする。

ボルト接合におけるボルトの記号は、ボルトの形状や締め付け施工場所により表すものとする。また、ボルトの表示については十字の中心に黒丸を書くこととしてもよい。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BMK	-BMK1	構造物基準線1（中心線、法線、等）	黄	一点鎖線
		-BMK2	構造物基準線2（破断線）	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-STR	-STR1	構造物1（主構造物外形線）	赤	実線
		-STR2	構造物2（吊り筋、等）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	構造物1（主構造物外形線）	赤	
		-STR2	構造物2（吊り筋、等）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-MARK	石、コンクリートなどのマークの飾り	薄緑	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	凡例等の文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	

6. 配筋図

配筋図の作成は以下の通りとする。

項 目	内 容
尺 度	縮尺は、1:10～1:100 を標準とする。 なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、 CAD 製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	配筋図の記載事項は、以下を基本とする。 (1) 対象構造物の形状寸法(平面図、断面図、等による) (2) 鉄筋配置図(鉄筋番号、鉄筋径、配置、等) (3) 鉄筋加工図(鉄筋番号、鉄筋径、加工形状、本数、等) (4) 鉄筋表(鉄筋番号、鉄筋径、本数、重量、等) (5) その他必要と認める事項
備 考	1 枚の図面に異なる尺度の構造物を複数作図する場合には、 使用する CAD ソフトにより対応が異なるため、対応方法を 関係者間で協議する。

【解説】

配筋図は、鉄筋の配置や PC 鋼材の配置など、主にコンクリートの内部を表現し、鉄筋その他の加工や配置を決める重要な図面である。配筋図では、切断面に現れた鉄筋を一本の実線で示すことを原則とし、必要に応じて切断面に現れない鉄筋を破線・一点鎖線で示すこととする。

鉄筋はその目的に応じて種々の径のものが使用されるが、これらすべてを径に応じた太さの線で表現しなくても良い。

鉄筋の断面は、円を塗りつぶして紙に出力するのが原則とする。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BMK		構造物基準線（中心線、等）	黄	一点鎖線
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-STR		構造物外形線	緑	実線
		-STR1	構造物1（配筋図）	赤	
		-STR2	構造物2（鉄筋加工図）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP		構造物外形線	緑	
		-STR1	構造物1（配筋図）	赤	
		-STR2	構造物2（鉄筋加工図）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	

図面作成例

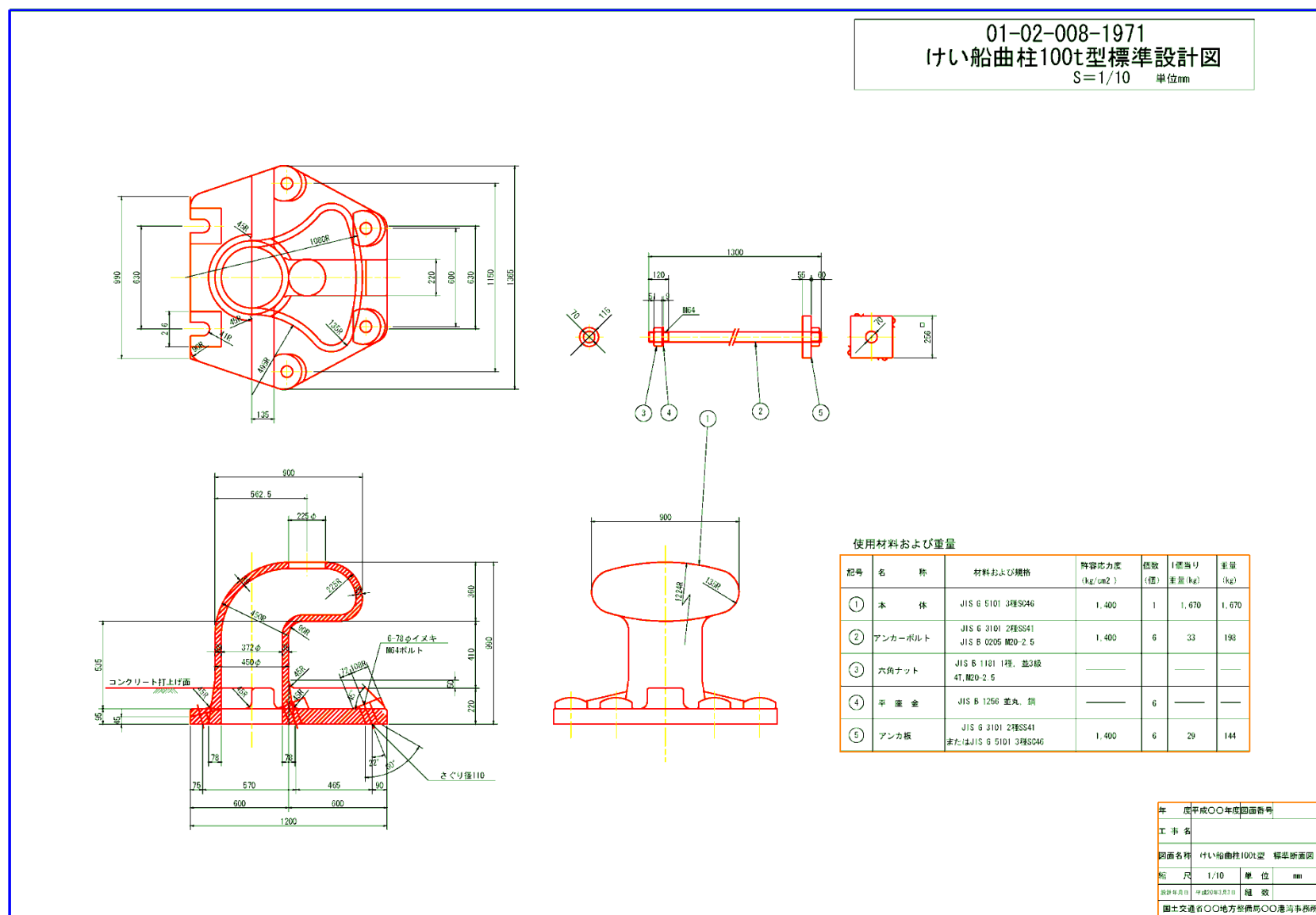
(1)ケーソン式係船岸

(2)直杭式横棧橋

Technical drawing of a cross-section of a coastal defense structure, showing various layers, materials, and dimensions. The drawing includes labels for '海側レール基礎' (Seaside Rail Foundation), '陸側レール基礎' (Land-side Rail Foundation), 'エプロン' (Apron), '防砂布' (Sand Prevention Cloth), '防砂板' (Sand Prevention Board), '基礎杭' (Foundation Pile), and '地盤改良' (Ground Improvement). It also shows soil types like '沖積粘性土' (Alluvial Clay) and '深層粘性土' (Deep Layer Clay), along with their respective properties (C, gamma, gamma', N). Dimensions are given in meters and millimeters.

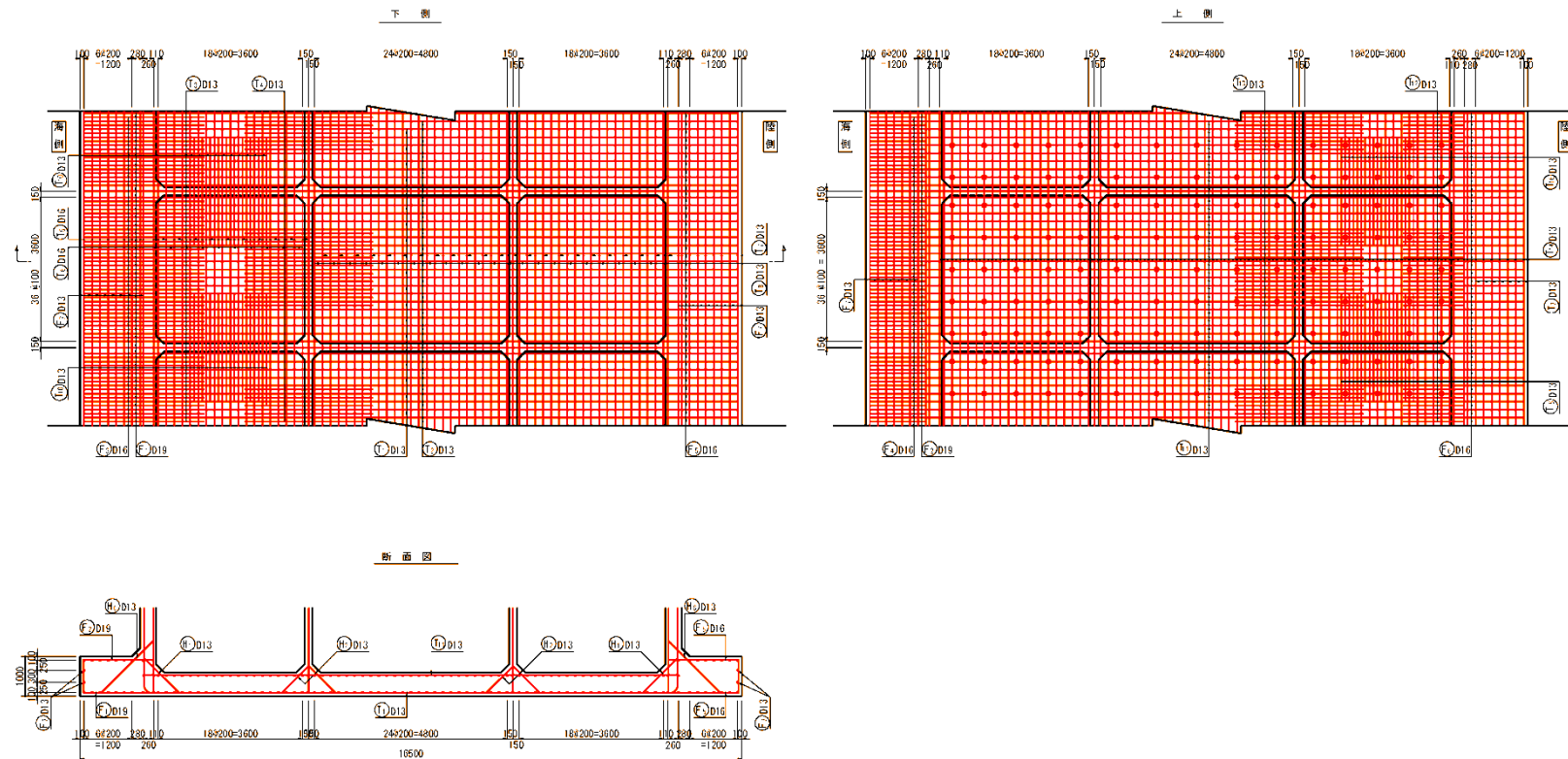
年度	平成○○年度	計画番号	
工事名			
図面名称	標準断面図		
縮尺	1/100	単位	mm
図面年月日	平成○○年○月○日	図数	
国土交通省○○地方整備局○○港湾事務所			

(けい船曲柱構造図)



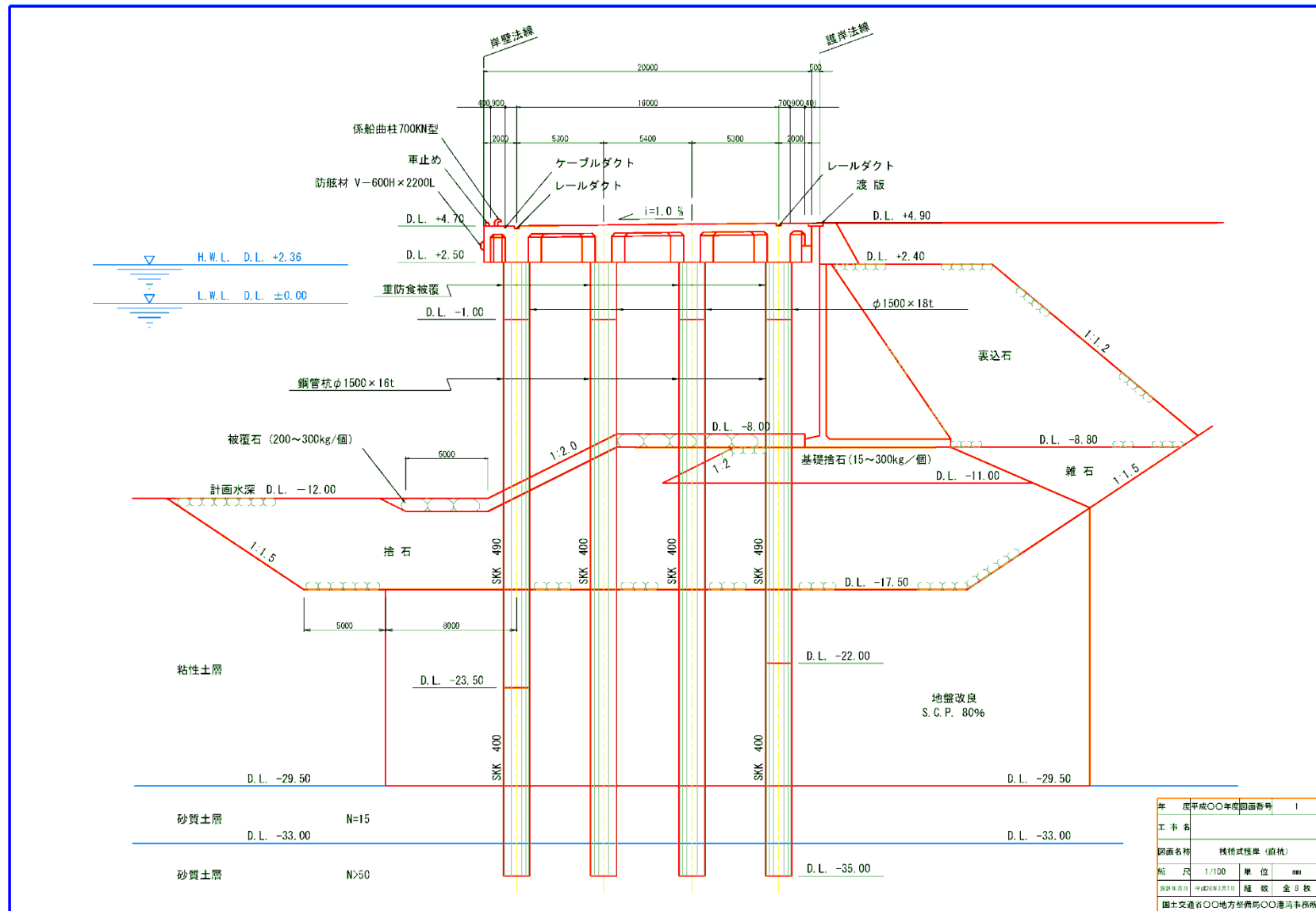
(底版配筋図)

底版配筋図 S=1/50

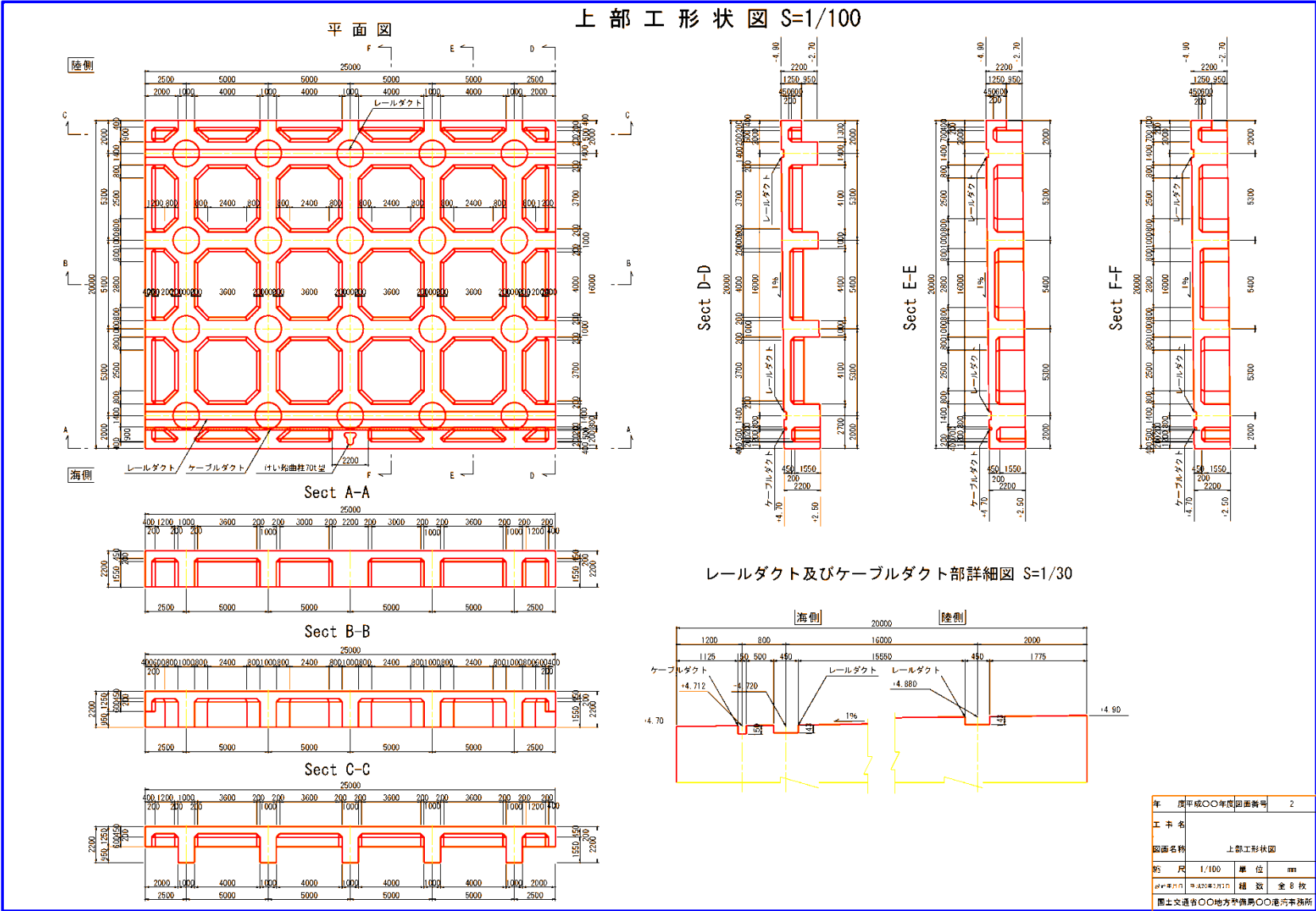


年	度	平成	〇〇	年度	図面番号
工	事	名			
図面名称	底版配筋図				
縮尺	1/50	単位	mm		
製図者	〇〇	校核者	〇〇	全	4 枚
図上交通省〇〇地方整備局〇〇港湾事務所					

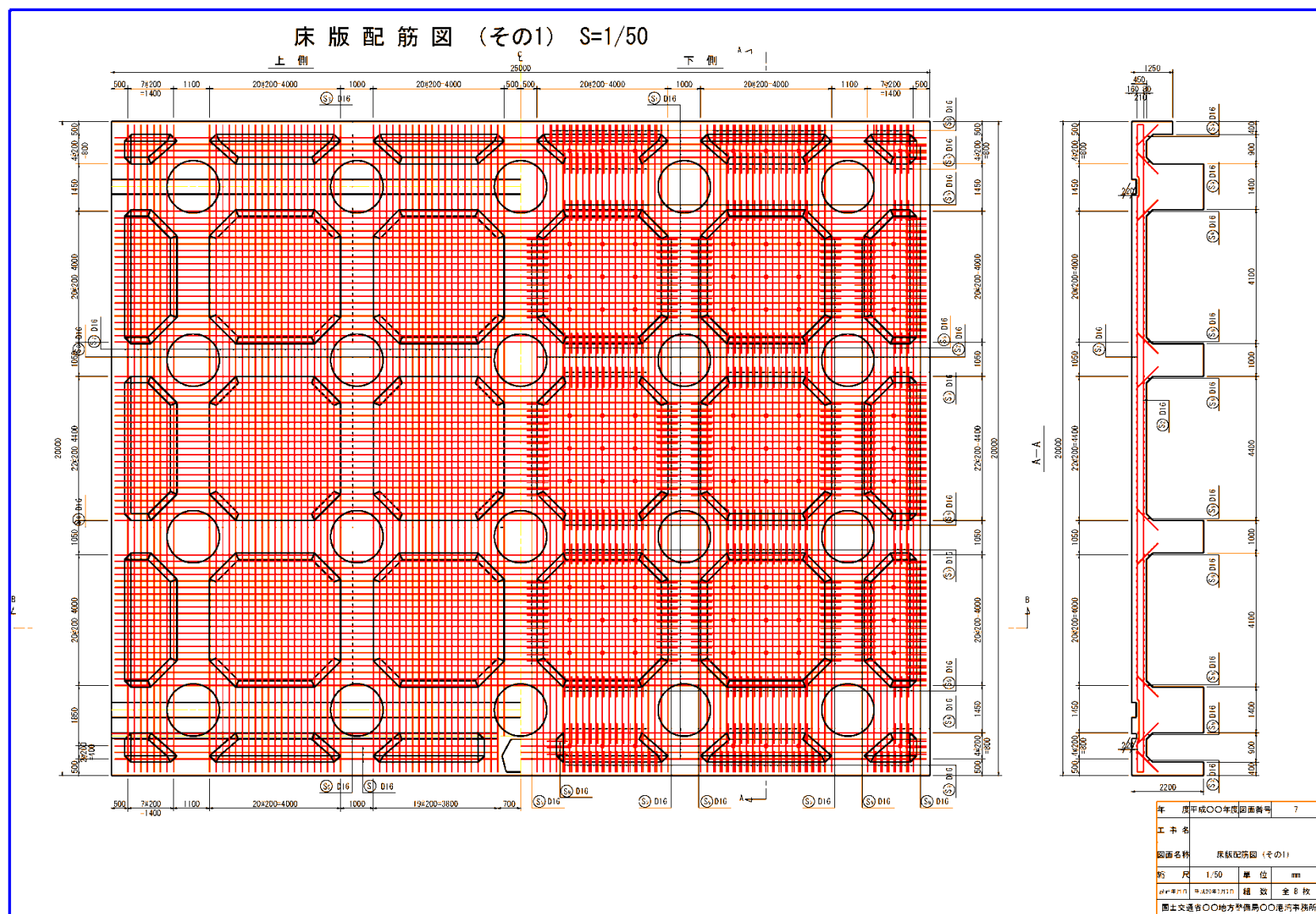
(2) 直杭式横栈橋 (標準断面図)



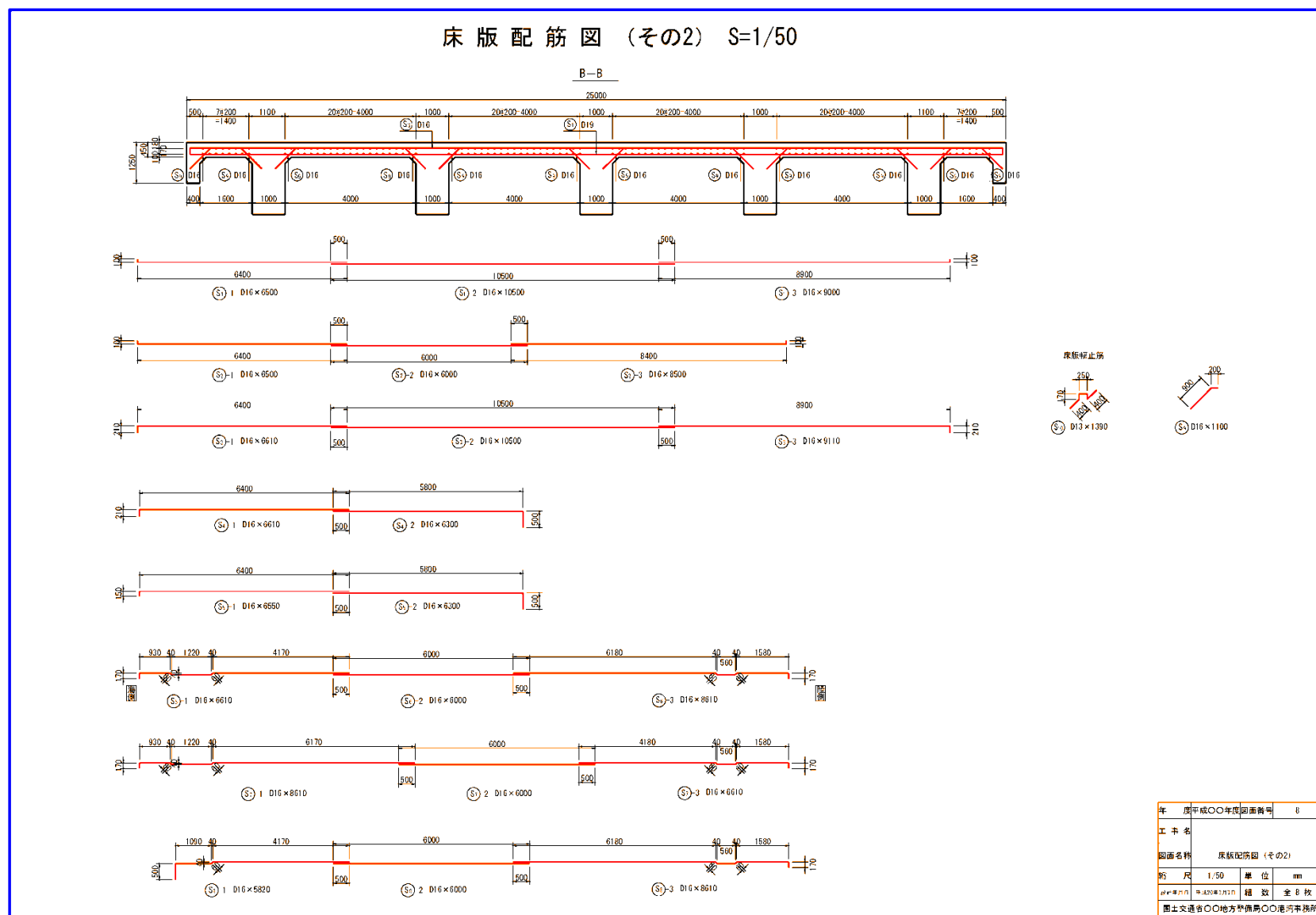
(栈橋上部工形状図)



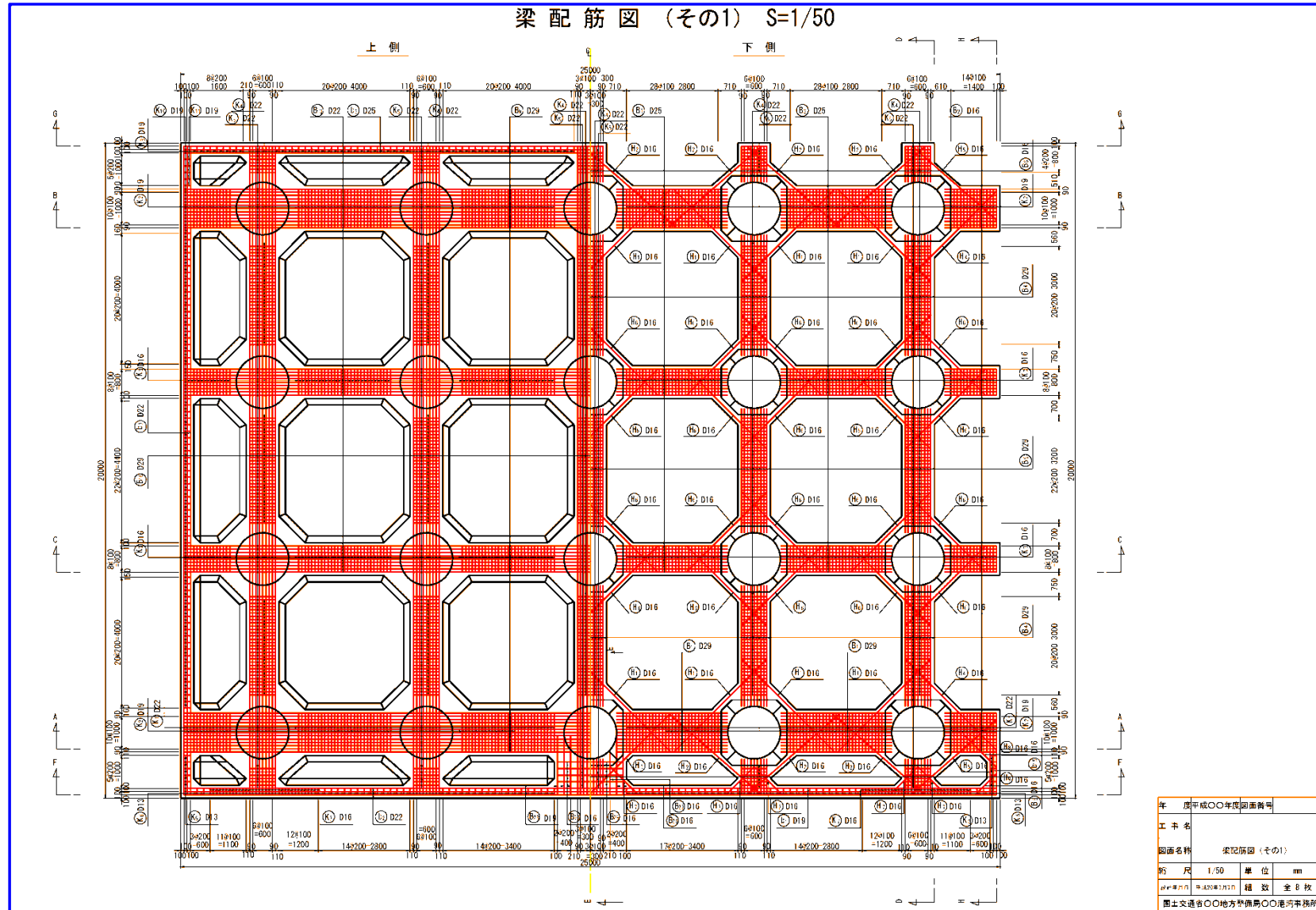
(棧橋上部工床版配筋図その 1)



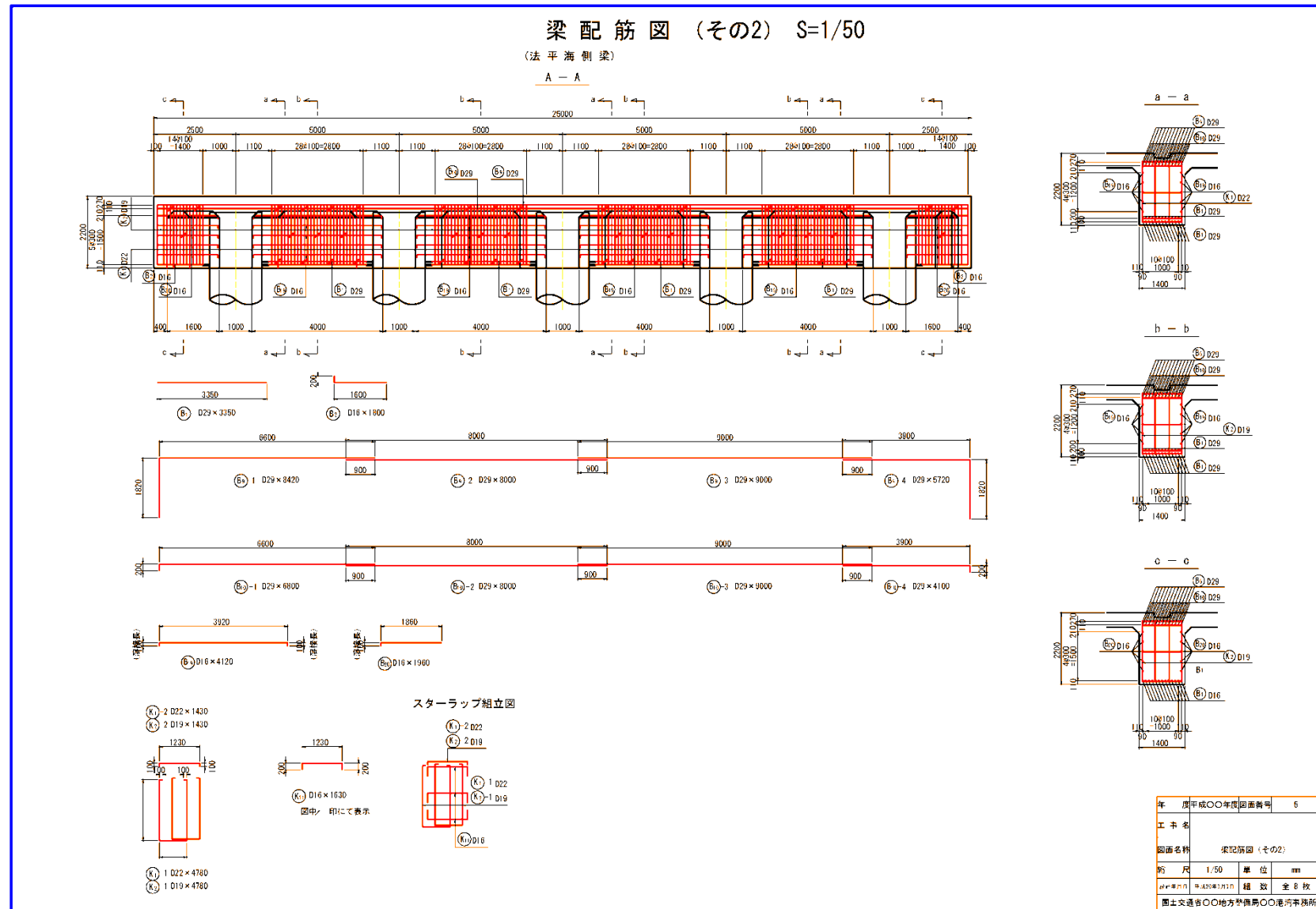
(棧橋上部工床版配筋図その 2)



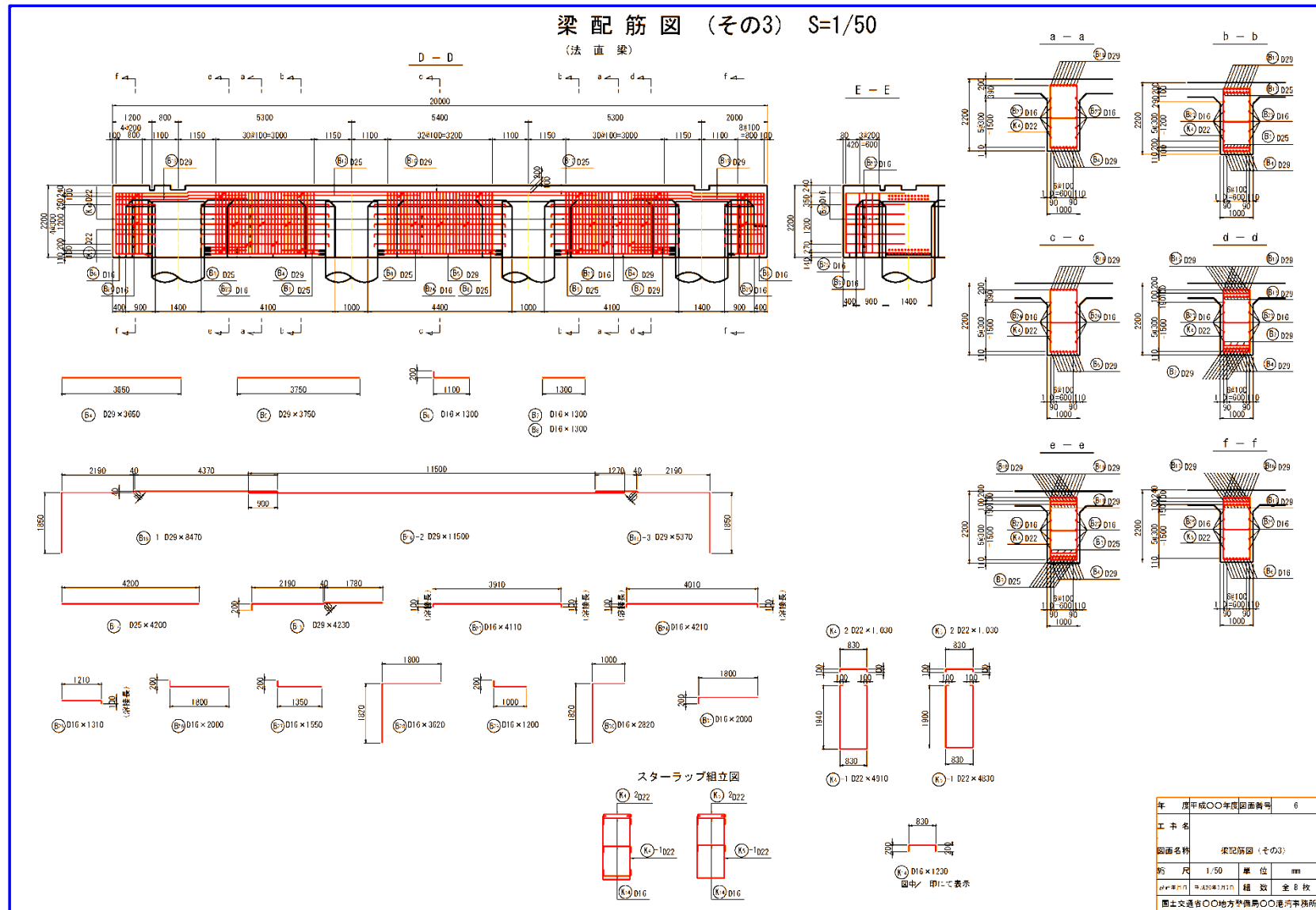
(栈橋上部工梁配筋図その1)



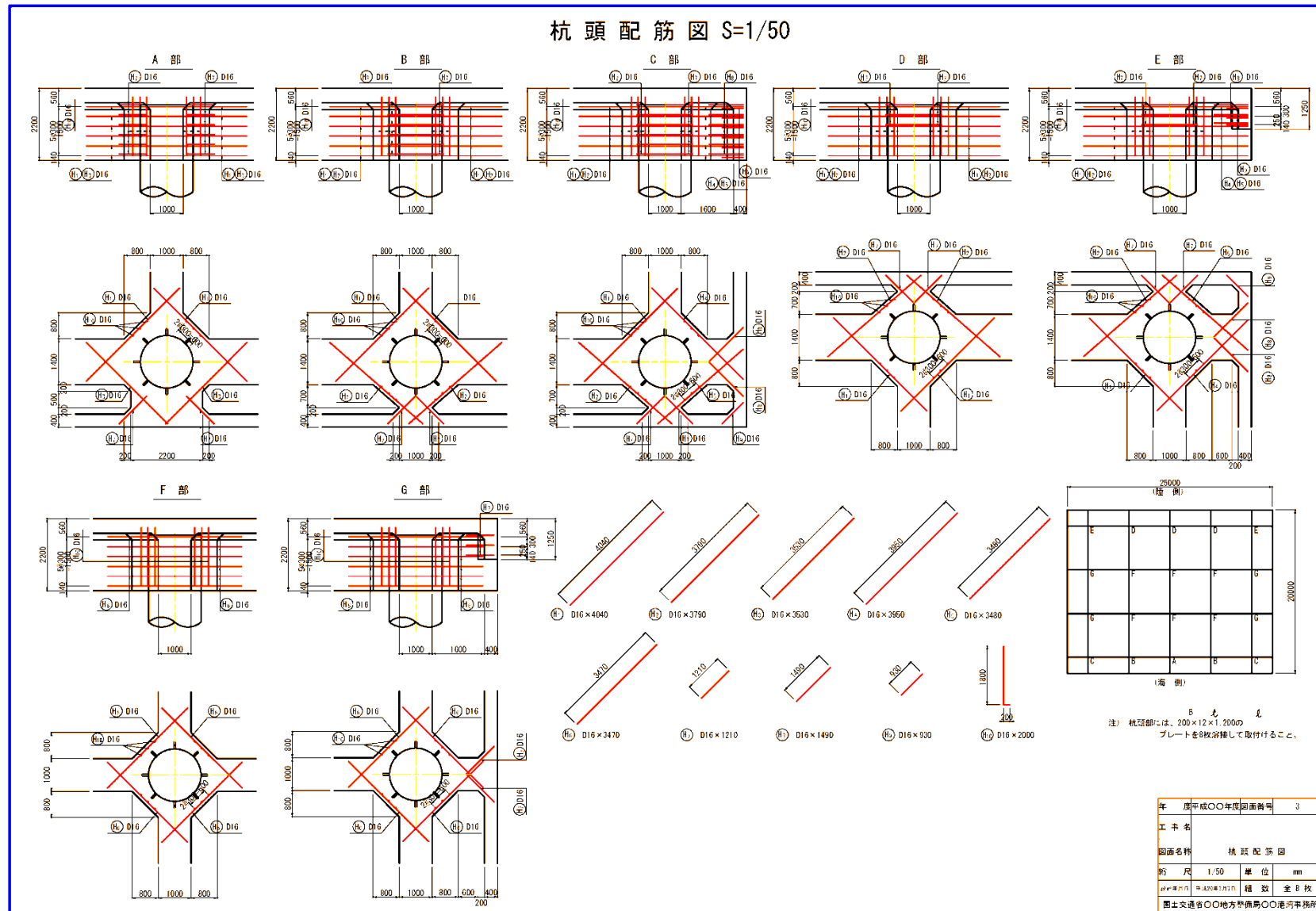
(栈橋上部工梁配筋図その2)



(栈橋上部工梁配筋図その3)



(栈橋上部工杭頭配筋図)



資料－3

港湾工事工種体系ツリー

「港湾工事工種体系ツリー」は、下記ホームページ公開されていますので、こちらを参照してください。

<http://www.mlit.go.jp/common/000120957.pdf>

資料－4

空港土木工事工種体系ツリー

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
用地造成	工場製作工	門扉製作工	製作加工	
			製作加工	
	工場製品輸送工	輸送工	輸送	
			小運搬	
	空港土工	掘削工	土砂掘削	
			軟岩掘削	
			硬岩掘削	
		路体盛土工	流用土路体	
			流用土路体 (岩石)	
			発生土路体	
			採取土路体 (土取場)	
			購入土路体	
		路床盛土工	流用土路床	
			発生土路床	
			採取土路床 (土取場)	
			購入土路床	
		法面整形工	法面整形 (掘削部)	
			法面整形 (盛土部)	
		作業残土処理工	----- (作業残土処理)	
	地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	
			置換	
		サンドマット工	サンドマット	
			安定シート	
		バーチカルドレーン工	サンドドレーン	
			袋詰式サンドドレーン	
			ベーパードレーン	
			グラベルドレーン	
		締固め改良工	サンドコンパクションパイル	
			粉体噴射攪拌	
		固結工	スラリー(セメントミルク)攪拌	
			高圧噴射攪拌	
			生石灰パイル	
			薬液注入	
			種子吹付	
	法面工	植生工	客土吹付	
			厚層基材吹付	
			植生ネット	
			種子帯	
			張芝	
			筋芝	
			市松芝	
			植生穴	
		法面吹付工	モルタル吹付	
			コンクリート吹付	
		法枠工	現場打法枠	
			プレキャスト法枠	
		アンカー工	現場吹付法枠	
			アンカー	
			アンカー足場	
			鉄筋挿入	
			足場	
		かご工	じゃかご	
			ふとんかご	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用	
	擁壁工	P C 法枠工	ブ レキャストコンクリート板 アンカー アンカー足場		
		リップ ラップ 工	リップ ラップ		
		作業土工	(床掘り) (埋戻し)		
		既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H形鋼杭 カットオフ 殻運搬処理		
		場所打杭工	場所打杭 杭土処理 殻運搬処理 泥水処理		
		現場打擁壁工	基礎材 均しコンクリート コンクリート 鉄筋 型枠 足場 目地材 止水板 水抜きパイプ 吸出し防止材		
		ブ レキャスト擁壁工	ブ レキャスト L 型擁壁 ブ レキャスト逆 T 型擁壁 鉋止めブロック		
		補強土壁工	補強土壁基礎 補強土壁		
		矢板工	鋼矢板 鋼管矢板 コンクリート矢板		
		井桁ブロック工	井桁ブロック基礎 井桁ブロック		
		小型擁壁工	現場打小型擁壁		
		石・ブロック積(張)工	作業土工		(床掘り) (埋戻し)
			コンクリートブロック工		コンクリートブロック基礎 コンクリートブロック積み コンクリートブロック張り 天端コンクリート
			緑化ブロック工		緑化ブロック基礎 緑化ブロック積み ブロック植栽 天端コンクリート
			石積(張)工		石積(張)基礎 石積み 石張り 天端コンクリート

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	カルバート工	作業土工	(床掘り) (埋戻し)	
		既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H形鋼杭 カットオフ 殻運搬処理	
		場所打杭工	場所打杭 杭土処理 殻運搬処理 泥水処理	
		現場打カルバート工	基礎材 均しコンクリート コンクリート 鉄筋 型枠 支保 足場 目地材 防水 止水板 水抜きパイプ	
		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス プレキャストパイプ	
	小型水路工	作業土工	(床掘り) (埋戻し)	
		開渠工及び側溝工	プレキャストU型側溝 コルゲートフリューム 自由勾配側溝 皿型排水溝 素掘排水溝 側溝蓋	
		管渠工	管渠	
		吐出し口工	吐出し口	
		集水樹・マンホール工	集水樹 マンホール 蓋	
		地下排水工	地下排水	
		現場打(組立)水路工	現場打水路 側溝蓋 柵渠	
	緑地工	植生工	種子吹付 張芝 筋芝 播種 植生盤 保護ネット	
		植栽工	植樹帯盛土 植樹 移植 支柱 樹名板	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	消防水利施設工	作業土工	(床掘り)	
			(埋戻し)	
		現場打貯水槽工	基礎材	
			均しコンクリート	
			コンクリート	
			鉄筋	
			型枠	
			支保	
			足場	
			蓋	
		消火訓練ピット工	基礎材	
			均しコンクリート	
			コンクリート	
			鉄筋	
			型枠	
			目地材	
			止水板	
		給水管敷設工	給水管	
			弁類	
			埋設標	
			埋設シート	
	付帯施設工	飛行場名標識工	基礎材	
			均しコンクリート	
			コンクリート	
			鉄筋	
			型枠	
			目地材	
			コンクリート面塗装	
		柵 工	木柵	
			鋼製フェンス	
			F R P フェンス	
			門扉	
		用地境界杭工	用地境界杭	
	プラスチック工	作業土工	(床掘り)	
			(埋戻し)	
		プラスチック基礎工	基礎材	
			均しコンクリート	
			コンクリート	
			鉄筋	
			型枠	
			支柱アンカーボルト	
		プラスチック設置工	プラスチック	
		塗 装 工	素地調整	
			前処理塗装	
			下塗	
			中塗	
			上塗	

工事区分 (レベル 1)	工 種 (レベル 2)	種 別 (レベル 3)	細 別 (レベル 4)	適 用
	ケーブルダブ外工	作業土工	(床掘り)	
			(埋戻し)	
		管路工	埋設管路	
			埋設シート	
			接地線	
		ハントホール工	ハントホール	
		マンホール工	基礎材	
			均しコンクリート	
			コンクリート	
			鉄筋	
	型枠			
	蓋			
	構造物撤去工	作業土工	(床掘り)	
			(埋戻し)	
		構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	
			石積み取壊し	
			コンクリートはつり	
			吹付法面取壊し	
			殻運搬処理	
			発生材運搬	
			発生材処理	
舗装取壊し工		舗装版切断		
		舗装版取壊し		
路面切削工	路面切削			
	殻運搬処理			
施設撤去工	側溝・街渠撤去			
	集水桝・マンホール撤去			
	柵撤去			
	標識板撤去			
	標識柱撤去			
	ブロック撤去			
	植栽撤去			
	照明柱撤去			
	ケーブル配管撤去			
	発生材運搬			
仮設工	全工種共通の体系（仮設工参照）			

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
基本施設舗装	工場製作工	PCプレキャスト舗装版製作工	製作加工	
		輸送工	輸送	
	空港土工	掘削工	小運搬	
			土砂掘削	
			軟岩掘削	
			硬岩掘削	
		路体盛土工	流用土路体	
			流用土路体 (岩石)	
			発生土路体	
			採取土路体 (土取場)	
			購入土路体	
		路床盛土工	流用土路床	
			発生土路床	
			採取土路床 (土取場)	
			購入土路床	
		作業残土処理工	(作業残土処理)	
	空港舗装工	舗装準備工	路床整形	
		無筋コンクリート舗装工	下層路盤	
			上層路盤	
			プライムコート	
			アスファルト中間層	
			路盤紙	
			コンクリート舗装	
			膨張目地	
			収縮目地	
			施工目地	
			削孔	
		P C 舗装工	下層路盤	
			上層路盤	
			路盤紙	
			コンクリート舗装	
			P C 鋼材	
			P C 緊張	
			伸縮目地	
		P C プレキャスト舗装工	施工目地	
			リフトアップ 用金具	
			下層路盤	
			上層路盤	
			路盤紙	
			P C 版敷設	
			P C 版段差調整	
			P C 版結合	
			P C 鋼棒	
			P C 鋼材	
			P C 緊張	
			伸縮目地	
			裏込めグラウト	
			目地グラウト	
			跡埋めモルタル	
			削孔	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
		連続鉄筋コンクリート舗装工	下層路盤 上層路盤 プライムコート アスファルト中間層 路盤紙 コンクリート舗装 鉄筋 膨張目地 施工目地	
		アスファルト舗装工	下層路盤 上層路盤 プライムコート タックコート 基 層 表 層	
		半たわみ性舗装工	下層路盤 上層路盤 プライムコート タックコート 基 層 表 層 浸透性セメントミルク	
		ブロック舗装工	下層路盤 上層路盤 ブロック舗装	
		補強工	構造物周辺補強	
		グルーピング工	グルーピング 殻運搬処理	
		路床排水工	路床排水	
	飛行場標識工	飛行場標識工	マーキング 仮マーキング マーキング消去	
	付帯施設工	タイタウソング・アスソング工	タイタウソング アスソング	
		照明柱基礎工	既製コンクリート杭 鋼管杭 カットオフ 殻運搬処理 基礎材 均しコンクリート コンクリート 鉄筋 型枠	
	舗装撤去工	舗装取壊し工	舗装切断 舗装版取壊し 殻運搬処理	
		路面切削工	路面切削 殻運搬処理	
	仮設工	全工種共通の体系（仮設工参照）		

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
舗 装	工場製作工	大型標識柱製作工	製作加工	
	工場製品輸送工	輸送工	輸送 小運搬	
	道路土工	掘削工	土砂掘削 軟岩掘削 硬岩掘削	
		路体盛土工	流用土路体 発生土路体 採取土路体（土取場） 購入土路体	
		路床盛土工	流用土路床 発生土路床 採取土路床（土取場） 購入土路床	
		作業残土処理工	（作業残土処理）	
	舗装工	舗装準備工	不陸整正 調整コンクリート	
		アスファルト舗装工	下層路盤 上層路盤 基層 表層	
		半たわみ性舗装工	下層路盤 上層路盤 基層 表層 浸透性セメントミルク	
		排水性舗装工	下層路盤 上層路盤 基層 表層	
		グーアスファルト舗装工	基層 表層	
		透水性アスファルト舗装工	路盤 フィルター層 表層	
		コンクリート舗装工	下層路盤 上層路盤 コンクリート舗装 転圧コンクリート舗装 縦目地 横目地	
		薄層カー舗装工	下層路盤 上層路盤 薄層カー舗装	
		ブロック舗装工	下層路盤 上層路盤 ブロック舗装	
		路床排水工	路床排水	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	路面排水工	側溝工	L型側溝 管(函)渠型側溝 プレキャストU型側溝 側溝蓋	
		管渠工	管渠	
		街渠柵・マンホール工	街渠柵 マンホール 蓋	
		排水性舗装用路肩排水工	透水性樹脂コンクリート 排水管	
	防護柵工	路側防護柵工	ガードレール ガードケープ ガードパイプ	
	道路標識工	小型標識工	路側標識 標識板	
		大型標識工	標識基礎 片持標識柱 門型標識柱 標識板 着雪防止板	
	道路付属施設工	区画線工	溶融式区画線 ペイント式区画線 高視認性区画線 仮区画線 区画線消去	
		縁石工	歩車道境界ブロック 地先境界ブロック 植樹ブロック アスカープ	
		道路植栽工	植樹帯盛土 植樹 移植 地被類植付 支柱 樹名板	
		道路付属物工	視線誘導標 自発光式視線誘導標	
		踏掛版工	床掘り 埋戻し コンクリート 型枠 鉄筋 縦目地 横目地 ラバーシュー 目地材 アンカーボルト	
		ケーブル配管工	ケーブル配管 ハンドホール	
		照明工	照明柱基礎 照明柱	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	舗装撤去工	舗装取壊し工	舗装版切断 舗装版取壊し 穀運搬処理	
		路面切削工	路面切削 穀運搬処理	
	仮設工	全工種共通の体系（仮設工参照）		

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
空港維持	巡回点検	空港施設巡回工	巡回点検 (制限区域内)	
			巡回点検 (空港構内道路)	
			緊急点検 (制限区域内)	
			緊急点検 (空港構内道路)	
	草刈工	草刈工	大型機械刈	
			小型機械刈	
			肩掛式機械刈	
			刈草運搬処分	
	清掃工	舗装面清掃工	基本施設路面清掃 (機械)	
			基本施設路面清掃 (人力)	
			路面清掃 (機械)	
			路面清掃 (人力)	
			ターミナル地区清掃	
			発生材運搬処理	
		脱油清掃工	脱油清掃	
			薬剤散布	
			洗浄	
			洗浄水運搬処理	
		ゴム除去工	ゴム除去	
			発生材運搬処理	
		排水溝清掃工	側溝清掃 (機械) (空港)	
			側溝清掃 (人力) (空港)	
			管渠清掃	
			皿型排水溝清掃	
			有蓋排水溝清掃	
			素掘排水溝清掃	
			柵清掃	
			発生材運搬処理	
		道路付属物清掃工	ガードレール清掃	
			ガードパイプ清掃	
			道路標識等清掃	
		地下道清掃工	壁面清掃 (機械)	
			壁面清掃 (人力)	
	標識維持工	飛行場標識維持工	マーキング	
			マーキング消去	
		区画線維持工	溶融式区画線	
			ペイント式区画線	
	植栽維持工	植木手入れ工	高視認性区画線	
			区画線消去	
			樹木剪定	
			寄植剪定	
			雑草抜き取り	
			補植	
			支柱	
			樹木施肥	
			寄植・芝施肥	
			灌水	
			樹木薬剤散布	
			寄植・芝薬剤散布	
			移植	
			発生材運搬処理	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	緊急補修工	緊急補修工	- アスファルト舗装補修 - コンクリート舗装補修 - 穀運搬処理	
	除 雪 工	除雪工	- スノーバ除雪車 - ブラウ除雪車 - ロータリ除雪車 - 凍結防止剤散布車 - 凍結防止剤散布装置 - トラクタショベル - 湿地ブルドーザ - トラック - ダンプトラック - 除雪グレーダ - モータグレーダ - 人力除雪 - 凍結防止剤	
		借上車両	- ブラウ除雪車 - 凍結防止剤散布車 - トラクタショベル - 湿地ブルドーザ - トラック - ダンプトラック - 除雪グレーダ - モータグレーダ	
		待機補償	- 待機稼動 - 待機不稼動 - 情報連絡員 - 情報連絡車 - 拘束労務	
	仮設工	全工種共通の体系（仮設工参照）		

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
空港修繕	用地修繕工	法面修繕工	- 法面整形（掘削部） - 法面整形（盛土部）	
		植生修繕工	- 種子吹付 - 客土吹付 - 厚層基材吹付 - 植生ネット - 種子帯 - 張芝 - 筋芝 - 市松芝 - 植生穴 - 播種 - 保護ネット	
		法面吹付修繕工	- モルタル吹付 - コンクリート吹付	
		法枠修繕工	- 現場打法枠 - プレキャスト法枠 - 現場吹付法枠	
		アンカー修繕工	- アンカー - アンカー足場 - 鉄筋挿入 - 足場	
		かご修繕工	- じゃかご - ふとんかご	
		P C 法枠修繕工	- プレキャストコンクリート板 - アンカー - アンカー足場	
		リップラップ修繕工	リップラップ修繕	
	空港舗装修繕工	無筋コンクリート舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤（空港） - 上層路盤（空港） - 路盤紙 - プライムコート - アスファルト中間層 - コンクリート舗装（空港） - 膨張目地（空港） - 収縮目地（空港） - 施工目地（空港） - 削孔（空港） - 構造物周辺補強 - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング - 角欠け補修 - 舗装版目地補修	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
		— P C 舗装修繕工	— リフトアップ準備 — リフトアップ — リフトアップ復旧 — ガスケット目地 — 施工目地 (空港) — ひび割れ注入 — ひび割れ充てん — 角欠け補修	
		— P C プレキャスト舗装修繕工	— 舗装版再生 — 舗装版取壊し — 殻運搬処理 — 下層路盤 (空港) — 上層路盤 (空港) — 路盤紙 — P C 版敷設 — P C 版段差調整 — P C 版結合 — P C 鋼棒 (空港) — P C 鋼材 (空港) — P C 緊張 (空港) — 伸縮目地 — 裏込めグラウト — 目地グラウト — 跡埋めモルタル — 削孔 — ひび割れ注入 — ひび割れ充てん — 角欠け補修	
		— 連続鉄筋コンクリート舗装修繕工	— 舗装版切断 — 舗装版取壊し — 下層路盤 (空港) — 上層路盤 (空港) — プライムコート — アスファルト中間層 — コンクリート舗装 (空港) — 鉄筋 — 膨張目地 (空港) — 施工目地 (空港) — 構造物周辺補強 — ひび割れ注入 — ひび割れ充てん — パッチング — 角欠け補修	
		— ブロック舗装修繕工	— 舗装版撤去 — 殻運搬処理 — 下層路盤 (空港) — 上層路盤 (空港) — ブロック舗装	
		— 路面切削工	— 路面切削 — 殻運搬処理	
		— オーバーレイ工	— 基層 (空港) — 表層 (空港) — タックコート	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
		— 切削オーバーレイ工	- 路面切削 - タックコート - 基層 (空港) - 表層 (空港) - 殻運搬処理	
		— アスファルト舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 (空港) - 上層路盤 (空港) - プライムコート - タックコート - 基層 (空港) - 表層 (空港) - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング	
		— 半たわみ性舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 (空港) - 上層路盤 (空港) - プライムコート - タックコート - 基 層 (空港) - 表 層 (空港) - 浸透性セメントミルク - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング	
		— グルーピング工	- グルーピング - 殻運搬処理	
	— 舗装修繕工	— アスファルト舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - 基層 - 表層 - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング	
		— 半たわみ性舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - 基層 - 表層 - 浸透性セメントミルク - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
		排水性舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - 基層 - 表層 - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング	
		コンクリート舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - コンクリート舗装 - 縦目地 - 横目地 - ひび割れ注入 - ひび割れ充てん - パッチング - 角欠け補修 - 舗装版目地補修	
		薄層カラー舗装修繕工	- 舗装版切断 - 舗装版取壊し - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - 薄層カラー舗装	
		ブロック舗装修繕工	- 舗装版撤去 - 殻運搬処理 - 下層路盤 - 上層路盤 - ブロック舗装	
		路面切削工	- 路面切削 - 殻運搬処理	
		オーバーレイ工	- 基層 - 表層 - タックコート	
		切削オーバーレイ工	- 路面切削 - タックコート - 基層 - 表層 - 殻運搬処理	
	標識修繕工	飛行場標識修繕工	- マーキング - 仮マーキング - マーキング消去	
		区画線修繕工	- 溶融式区画線 - ペイント式区画線 - 高視認性区画線 - 仮区画線 - 区画線消去	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
	— 構造物修繕工 —	— 作業土工 —	床掘り 埋戻し 舗装仮復旧 殻運搬処理	
		— ひび割れ修繕工 —	はつり 面荒し 鉄筋防錆処理 ひび割れ注入 ひび割れ充てん 断面修復 表面被覆 足場	
		— 目地修繕工 —	目地補修	
		— 漏水修繕工 —	面導水 線導水	
		— 欠損部修繕工 —	欠損部取壊し 欠損部補修	
		— 柵修繕工 —	ネット張替え 有刺鉄線張替え 部材補修 基礎補修	
		— プラストフェンス修繕工 —	パネル修繕 部材補修 基礎補修 部材塗装	
		— 側溝修繕工 —	L型側溝 プレキャストU型側溝 側溝蓋	
		— 管渠修繕工 —	管渠	
		— 街渠柵・マンホール修繕工 —	街渠柵 マンホール	
		— 付属施設修繕工 —	標識撤去 標識板撤去 殻運搬処理 標識基礎 片持標識柱 門型標識柱 標識板 ブロック撤去 視線誘導標撤去 ケーブル配管撤去 ハンドホール撤去 照明柱基礎撤去 境界ブロック 植樹ブロック アスカーブ 視線誘導標 ケーブル配管 ハンドホール 照明柱基礎	

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	適 用
		塗装修繕工	素地調整 コンクリート面清掃 前処理塗装 下塗 中塗 上塗	
	仮設工	全工種共通の体系（仮設工参照）		

(レベル1) 工事区分	(レベル2) 工 種	(レベル3) 種 別	(レベル4) 細 別	適 要
全工種共通	仮設工	工事用道路工	(工事用道路盛土) (法面整形(盛土部)) (安定処理) (工事用道路排土敷均し) (敷砂利) (敷鉄板) (敷鉄板賃料等) (仮覆工板) (仮設舗装) (安定シート) (工事用道路補修) (土のう) (殻運搬処理)	
		仮橋・作業構台工	(床掘り) (埋戻し) (仮橋コンクリート基礎) (橋脚) (橋脚賃料等) (仮橋上部) (仮橋上部賃料等) (覆工板) (覆工板賃料等) (仮設高欄) (殻運搬処理) (鋼管杭) (防舷材)	
		路面覆工	(覆工鋼材) (覆工鋼材賃料等) (覆工板) (覆工板賃料等) (覆工鉄板) (覆工鉄板賃料等) (覆工板日々取付取り外し)	
		土留・仮締切工	(溝掘り) (仮設鋼矢板) (仮設鋼矢板賃料等) (仮設広幅鋼矢板) (仮設広幅鋼矢板賃料等) (仮設軽量鋼矢板) (仮設軽量鋼矢板賃料等) (鋼管矢板) (仮設H鋼杭) (仮設H鋼賃料等) (アンカー) (仮設タイロッド・腹起し) (タイロッド・腹起し賃料等) (切梁・腹起し) (切梁・腹起し賃料等) (横矢板) (簡易土留) (盛替梁) (じゃかご(仮設)) (ふとんかご(仮設)) (連節ブロック張り(仮設)) (土のう) (締切盛土)	

(レベル1) 工事区分	(レベル2) 工 種	(レベル3) 種 別	(レベル4) 細 別	適 要
			— (法面整形(盛土部)) — (板柵) — (止水シート) — (泥土処理) — (中詰盛土) — (殻運搬処理)	
		— 水替工	— (ポンプ排水) — (水替とい)	
		— 地下水位低下工	— (ウェルポイント) — (デュープウェル)	
		— 地中連続壁工(壁式)	— (作業床) — (カイトウォール) — (連壁掘削) — (連壁鉄筋) — (連壁継手) — (連壁コンクリート) — (フランク・機械組立解体) — (アンカー) — (切梁・腹起し) — (切梁・腹起し賃料等) — (廃液処理) — (泥土処理) — (殻運搬処理)	
		— 地中連続壁工(柱列式)	— (作業床) — (カイトトレンチ) — (柱列杭) — (フランク・機械組立解体) — (アンカー) — (切梁・腹起し) — (切梁・腹起し賃料等) — (泥土処理) — (殻運搬処理)	
		— 仮水路工	— (ヒューム管) — (コルゲートパイプ) — (塩ビ管) — (吸出し防止材) — (素掘側溝) — (板柵水路) — (仮設鋼矢板水路) — (仮設鋼矢板水路賃料等) — (仮設軽量鋼矢板水路) — (仮設軽量鋼矢板水路賃料等) — (土のう)	
		— 残土受入れ施設工	— (法留柵) — (土のう) — (コンクリートブロック積み) — (プレキャストL型擁壁) — (プレキャスト逆T型擁壁)	
		— 作業ヤード整備工	— (ヤード造成) — (敷砂利)	
		— 電力設備工	— (受電設備) — (配電設備) — (電動機設備) — (照明設備)	

(レベル1) 工事区分	(レベル2) 工 種	(レベル3) 種 別	(レベル4) 細 別	適 要
		用水設備工	(用水設備) (塩ビ管)	
		コンクリート製造設備工	(コンクリートポンプ設備) (ケーシングクレーン設備)	
		共同溝仮設備工	(仮階段)	
		防塵対策工	(仮設舗装) (タイヤ洗浄装置) (路面清掃) (散水)	
		汚濁防止工	(汚濁防止フェンス) (濁水処理設備)	
		防護施設工	(発破防護柵) (発破防護柵賃料等) (仮囲い) (立入防止柵)	
		除雪工	(現場内除雪A) (現場内除雪B)	
		法面吹付工	(仮設用モルタル吹付)	
		支給品運搬工	(支給品運搬)	

(レベル1) 工事区分	(レベル2) 工 種	(レベル3) 種 別	(レベル4) 細 別	適 要
共通仮設	共通仮設費	運搬費	建設機械運搬費 — 重建設機械分解組立費 — 仮設材運搬費	
		準備費	— 処分費	
		事業損失防止施設費	— 家屋調査費 — 騒音調査費 — 振動調査費 — 沈下観測費 — 傾斜観測費 — 水質調査費 — 地下水観測費 — 事業損失防止施設費	
		安全費	— 交通誘導員 — 機械誘導員 — 安全管理員 — 高圧線防護施設費 — 夜間照明費	
		役務費	— 借地料 — 電力基本料金 — 電力設備工事負担金 — 用水基本料金	
		技術管理費	— 土質試験費 — 地質試験費 — 軟弱地盤調査費 — 自主的施工による費用 — 品質証明費 — 施工調査費	
		営繕費	— 監督員詰所 — 火薬庫類	
		イメージアップ 経費	— 見学用ステージ — 見学路用疑似階段 — 見学者専用駐車場 — 敷石 — インフォメーション施設 — イメージアップ 費（率計上）	
	共通仮設費（率計上）		共通仮設費（率計上）	

**地方整備局（港湾空港関係）の事業における
電子納品等運用ガイドライン【資料編】**

2011 年 3 月	初版発行
2013 年 5 月	一部改訂
2017 年 3 月	二版発行

発 行 国土交通省 港湾局